ライオン誌4月号 2004年（平成16年）3月20日発行
昭和33年12月19日付第3種郵便物認可毎月1回20日発行第46巻第10号

IN JAPAN
Official publication
of Lions Clubs
International

April 2004

THEME 青少年

子どもたちの自尊心を育むライオンズ・クエスト・プログラム

ROAR 331複合地区

ヘッドライン：北海道旭川／ふるさと探訪：北海道鹿追

We Serve

CONTENT

表　紙　メ　モ

●
日本の風景
北海道松前･松前公園
●
写真:編集部
●
デザイン:内田誠治

会員増強はどこまで進展を遂げているか？

Expanding Our Membership How Far Have We Traveled?

国際会長メッセージ

2003-04年度国際会長
テーサップ・リー
Dr. Tae-sup Lee

ライオンズクラブ国際協会の会員数を実質的に増加させることは、本年度の主要な目標の一つです。「未来の扉を開く改革」という二〇〇三年度のテーマを踏まえ、私は世界中の会員たちに、創造的な方法を駆使して新会員の勧誘に努めるよう呼び掛けています。世界中のクラブがそれぞれの社会の力強く革新的な指導者となるため、また「ウィ・サーブ」という理念の真髄をあらゆる人々に知らしめるために、私たちは創造的な方法を活用しなければなりません。私がデンバーで国際会長に就任してから、早くも六カ月の月日が過ぎ去ろうとしています。国際協会の会員増強は、この間にどこまで進展を遂げたでしょうか。

七月一日以降、国際協会には四万四千七百三十人の新会員が加わりました。最新の数字によれば、現在百三十四万八千三百五十人の会員が、四万六千百三十四のクラブで活動しています。世界で最大かつ最も活動的な奉仕クラブ組織のメンバーとして、私たちは一人でも多くの女性を招き入れ、地域社会に奉仕する機会を与えなければなりません。私は過去六カ月にわたり、それがどれほど重要なことであるかを強調してきました。女性は世界人口の五二パーセントを占めていますが、国際協会におけるその比率は、残念ながらわずか一四パーセントに過ぎません。このような状況を改善すべく、私たちはすぐに行動を開始する必要があります。ライオンズへの入会が初めて認められた一九八七年以来、女性はその熱意、奉仕、指導力によって、クラブの強化に大きく貢献しています。

世界中のライオンズクラブには、現在二十万五百人を上回る女性会員がいます。本年度もこれまでに、新たに一万四千人の女性を迎え入れることが出来ました。女性の入会者数が通常は年間六千五百人に過ぎなかったことを考えれば、これは素晴らしい記録と言えるでしょう。この事実をご報告出来ることに、私は特に誇りを感じています。女性が自分自身と地域社会のために、ライオンズの一員となることに価値を見いだせるよう、私たちはさまざまな取り組みに着手してきました。その戦略は今、確実に成果を収めつつあります。女性は豊富で未開拓の会員候補であり、その計り知れない価値を認識しなければなりません。今後の数年間に、会員の皆さんが更に革新的な方法を実行してくださることを、私は楽しみにしています。

本年度私が重視している二番目の集団は、一九四六年から一九六四年にかけて誕生した、一般に

フィンランドを訪問した国際会長は、タルヤ・ハロネン大統領（右から２人目）を表敬訪問し、ヘッド・オブ・ステート・メダルを贈呈した

「ベビー・ブーマー」と呼ばれる世代です。彼らはそれ以前のあらゆる世代に比べ、全体的に教育水準が高く、職業的に安定し、地域社会に積極的に参加しつつあります。この世代が理想的な会員候補であることは明らかですが、女性を始めとするあらゆる会員候補と同様、彼らにも入会を要請する必要があります。ご存じの通り、入会は招請のみによります。したがって、相手が訪ねてくるはずもなく、皆さんは自ら出向いて入会を求めなければなりません。

　私たちの革新的なライオンズクラブでも会員数は増加しつつあり、このことをご報告出来るのは限りない喜びです。現在、四百二十六のクラブ支部、百五十四の新世紀クラブ、二百四十七の学内クラブが存在します。このような成果は、会員の増強を目指すライオンズその他のあらゆる組織にとって、創造性こそ活力の源なのだという事実を、極めて明白に物語っています。すべての会員はそれぞれの社会において、優れた会員としての資質を備えた男女を絶えず探し求め、クラブに入会させなければなりません。皆さんには、ほかにも重視しなければならないことがあるでしょう。しかし、新会員の勧誘は年間を通した活動なのだということを、常に念頭に置いてほしいものです。

　会員を維持することも、新会員の勧誘に勝るとも劣らず重要です。会員が退会を選ぶ時、多くの場合、その責任は仲間の会員にあります。それはオリエンテーションの不備や仲間意識の不足によるものであり、最もありがちな要因として、クラブ内で有効な職務割り当てがなされず、会員が積極的に参加していないことが挙げられます。会員維持はクラブの会員一人ひとりの義務であり、重く受け止めるべき責任です。会長リテンション・プログラムでは、本年度既に四千人の会員維持を記録しています。この数字を見れば、会員がその重要性を認識していることは明らかです。

　クラブの会員を増強するために、可能な限りの創造的な方法を駆使してください。会員増強の分野でも、改革こそ未来の扉を開く鍵なのです。皆さんがその事実を立証してくださることを、私は心から願っています。

青少年の自尊心を育む

ライオンズ・クエスト・プログラム

ライオンズ・クエスト・プログラムは世界三十カ国で導入され、二百万人以上の子どもたちがその恩恵を受けている。日本でも330・C地区でパイロット事業が進行中で、教育関係者を中心に高い評価を得ている。このプログラムの基礎となるのが、ライフスキル教育だが、それがどのようなものなのか、一般にはあまり知られていない。そこで、日本のライフスキル教育の第一人者である川畑徹朗神戸大学教授に話を伺った。

ライフスキル教育とは

――まずはライフスキルの概念について説明して頂けますか。

「簡単に言えば、人間関係やストレスなど、私たちが日常生活で直面するさまざまな問題に、適切に対処するのに必要な能力のことです」

――世界保健機関（WHO）でも推進しているようですね。

「そうですね。WHO精神保健部局では、『日常生活で生じるさまざまな問題や要求に対して建設的かつ効果的に対処するために必要な心理社会能力』と定義しています」

――いつ、どのように生まれたのでしょう。

「一九七〇年代後半、アメリカで喫煙防止教育に導入されたのが始まりです。それまでの健康教育では、思春期に子どもが引き起こす喫煙、飲酒、薬物乱用などの危険行動をそれぞれ独立した行動としてとらえ一貫性のない対応をしていました。しかし、危険行動の根底には共通の要因があることが分かってきました。ライフスキル教育はそれに対して適切な働きかけをするというものでし

た。つまり、個別対応的なやり方から、根本的な見直しへ転換を図るものだったのです」

――ライフスキルは学習で身に付けることが出来るのでしょうか。

「ええ。ライフスキルの本質を理解する上で特に重要なポイントが三つあります。その一つが、ライフスキルは『学習や経験によって獲得可能な能力』だということです。

言い換えると、ライフスキルは生まれつき備わっている能力ではなく、親などの周囲の人の行動を見て次第に身に付けていったりするものなのです。もちろん、意図的なしつけや教育によって身に付けることも可能です」

――他の二つのポイントは……。

「『さまざまな問題や状況に応用出来る、一般的・基礎的な能力』、『心理社会能力』だということです」

――従来の考え方とはだいぶ違うのでしょうか。

「従来は例えば、たばこをすってはいけない、麻薬をやってはだめ、といった『……してはいけない』という否定の教育でした。しかし、『だめ』と言われると逆に興味がわいてしまう場合もあり、効果があがらなかった。そこでライフスキル教育では否定ではなく、自分自身の長所に気づこうとか、もっと良いコミュニケーションをするためにはどうしたらよいか考えようとか、より肯定的なメッセージを多く発して子どもとのコミュニケーションを育てるという考えをとったのです。これは従来の健康教育からは想像もつかないセンセーショナルな方法論でした」

――中央教育審議会がまとめた「二十一世紀を展望した我が国の教育の在り方」は、今日の変化の激しい社会を生きていくために必要な資質や能力を「生きる力」と定義し、これからの学校が目指すべき教育の目標と強調しています。この「生きる力」とライフスキルは共通する部分があるようですが。

「そうですね。ライフスキルは欧米で生まれた概念ですが、日本の学校教育で提言されている『生きる力』と比較すると、両者が非常に近い概念であることが分かります。『生きる力』の第一要素は『自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、より良く問題を解決する資質や能力』ですが、これはライフスキルで言っている目標設定や意志決定の能力に相当します。また、『生きる力』の第二の要素である『自らを律しつつ、他人と共に協調し、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性』は、ライフスキルのストレスへの対処能力やコミュニケーション能力を含む対人関係のスキルと深いかかわりがあります。更に、両者の考え方の中核を成すのが、子どもの健全な自尊心の育成である点も共通しています」

――ライフスキル教育は日本の教育現場でも有効でしょうか。

「有効だと思います。実際、今度の学習指導要領には自尊心という言葉が、ずい分と出てきます。自尊心や生きる力を育む一環として、二〇〇一年からは総合的な学習の時間も設けられていますし、時勢から見ても、ライフスキル教育は今、最も日本の学校教育の現場に求められているものだと言っていいでしょう」

――教育委員会や自治体などの反応はどうなのでしょう。

「文部科学省が積極的にライフスキル教育を研修会に取り入れているほか、地方自治体でもライフスキル教育の研修会を都道府県の教育委員会レベルで開催しています。以前に比べ、理解が得やすい状況になっているのは確かです。私自身も今年から四年間、文部科学省の科学研究費の補助を得て、新潟県朝日村の全小中学校でライフスキル教育のパイロット研究を行うことになりました」

ライオンズ・クエストの特長

――そうしたライフスキルをベースとした教育プログラムは、いくつかあるのでしょうか。

「はい。もちろん、ライオンズクラブで展開されているライオンズ・ク

川畑徹朗（かわばた てつろう）
神戸大学発達科学部教授、教育学博士。東京大学教育学部卒業。JKYB研究会代表、日本学校保健学会評議員、日本学校保健会喫煙・飲酒・薬物乱用防止指導研究委員会委員、日本学校保健会薬物乱用防止教材作成小委員会委員長。著書に『地域と連携した小学校高学年からの喫煙防止プログラム』（大修館書店）、『健康教育とライフスキル学習 - 理論と方法』（明治図書）など。

エスト・プログラムもその一つですが、『Life Skills Training（LST）』や『Know Your Body（KYB）』など、同様な考え方で開発されたものがあります」

――川畑教授はその中で、JKYB研究会を主宰されていますね。

「私が、最初にライフスキルを知ったのが、KYBだったのです。それで八八年には、仲間の研究者たちと『Japan Know Your Body Project（JKYB研究会）』を発足させ、KYB日本語版の作成に着手し始めました。同時に、他のライフスキル教育プログラムも調べました。ライオンズ・クエスト・プログラムを知ったのもそのころです。オーストラリアでは、実際に導入されている学校をいくつか見学させて頂きました」

――研究者の目でご覧になって、ライオンズ・クエスト・プログラムをどのように思われますか。

「私自身、日本でのパイロット事業導入に当たって、日本語版開発に深くかかわらせて頂いたので、公正な立場かどうかちょっと難しいところですが、客観的に見ても非常に優れていると思います」

――具体的にライオンズ・クエスト・プログラムの特長を挙げてみて

ライオンズ・クエスト導入への道

中雄政幸
青少年育成支援フォーラム副理事長・事務局長／東京愛宕山ライオンズクラブ

青少年育成の切り札として、高い関心を集めるライオンズ・クエスト・プログラムだが、実際にアクティビティとして取り上げるにはどうしたらいいかよく分からない、という声を聞く。そこで、LCIFから日本国内での同プログラムの実施団体に指定され、日本語版の普及促進及び版権管理を担当するNPO青少年育成支援フォーラム（JIYD）の中雄政幸事務局長に、導入までの流れと導入後の活動について説明して頂いた。

――アクティビティとしてライオンズ・クエスト・プログラムの導入を検討したいという場合、どのような手続が必要なのでしょうか。

「まずは会員の方が概要を理解することが必要でしょうから、ライオンズ・クエストの説明会を開くことが第一段階になります。ご連絡を頂ければ、私どもでご説明に伺います」

――どの程度の規模を考えたらいいのでしょう。

「出来れば地区単位が望ましいのですが、リジョン単位やゾーン単位、場合によってはクラブ単位でも対応致します。時間としては、最低でも三十分ぐらい頂けるとありがたいですね」

――そこで地区なり、リジョン、ゾーン、あるいはクラブの合意が得られ、導入が決定した場合、第二段階はどういう活動になるのでしょうか。

「プログラムを実際に導入して頂けそう、あるいは導入して頂きたいとライオンズの方々が考える、地元の学校を探して頂いて、プログラムをご説明し、学校に働き掛けて頂きたいと思います。その際、あらかじめ教育委員会や校長会に話をしておくと、比較的スムーズに進行すると思います。必要とあれば、いつでもJIYDがフォローアップに回る用意がありますので、お気軽に声を掛けてください。ここで、ある程度関心を持たれ、学校側に導入を検討する機運が生まれたら、第三段階として、私どもが開催しているワークショップ（教師用のトレーニング）にその学校の先生を派遣してください」

――ワークショップに関して、神戸大学の川畑教授はプログラムの根幹をなす非常に重要なもの、とおっしゃっていました。

「そうですね。二日間の日程で実施しますが、ライオンズ・クエストの授業で実際に行うロールプレイなどを体験して頂きます。参加された方からは、非常に好評を頂いています。中には学校単位での導入は見送られたが、ワークショップに参加された先生が、ご自分の授業でこの方式を使い、効果を挙げているという例もあります」

頂けますか。

「最大の特徴は、教室でのライフスキル教育に加えて、ボランティア活動を通じて子どもたちのライフスキルを強化し、仲間や地域の人々との絆を強めようとしている点にあります。また、プログラムが現場の学校教師を中心に開発され、改良が加えられてきたので、実践的な内容になっています。加えて世界各国で導入されているのを見ても、非常に汎用性が高いプログラムであると言えますね」

――当初、プログラムを開発するに当たり、ライオンズ側では薬物乱用防止教育に特化させてほしいと依頼したと聞いていますが、内容的にはいかがですか。

「もちろん、薬物乱用防止教育の部分は大きなウエートを占めていますが、それだけではなく、ライフスキル全般にわたっています。一方で、さまざまなニーズを考慮した分、ちょっとボリュームが大きいということも言えます。すべてを消化しようとすると百二十時間かかります。ですから導入に当たっては、学校側と相談しながら、特に必要な個所を取り上げていくような工夫も必要でしょうね」

――ワークショップには学校の先生以外にも参加出来るのですか。

「もちろんです。ライオンズ会員の方も参加されています。また、他国では、警察や消防の署長など、地域の方たちも積極的に参加されているようです。先ほど申し上げた第一段階の説明会で、もし長く時間を取れるようでしたら、ワークショップ体験会を行うことも出来ます。講師を交えて、実際にワークショップで行われていることを再現します。ワークショップの空気を体験出来ますので、ライオンズ・クエストのことを手っ取り早くご理解頂けるかと思います。

ただし、講師に同行して頂くことになりますので、謝礼や交通費などの実費は、主催者側で用意して頂くことになります」

――ワークショップは年に何回ぐらい開催されているのですか。

「現在は、実際の導入が330－B地区とC地区だけですので、埼玉、神奈川を中心に年七回開催しています。が、参加者は同地区だけでなく、全国から受け付けていますので、ここに派遣して頂くのが最も簡単な方法です。が、交通費もかかりますから、本格的導入を図るなら、やはりLCIFの四大交付金を申請し、資金面を整えて、ご自分の地域でワークショップを開催した方が安価で済みます」

――今後のワークショップの予定を教えてください。

「近いところで五月十五、十六日にさいたま市で開催します。参加ご希望の方は、ライオンズ・クエストのホームページ（www.lqjp.org）をご覧頂き、『ワークショップ』をクリックして頂くと、いろいろなご説明・ご案内と共に、お申し込みが出来るようになっております。あるいはEメール（info@lqjp.org）やファクス（〇三・三四四〇・四四四七）でお申し込みください。なお、七月以降の開催予定は決定次第、ホームページで紹介していきます。定員は三十人で、参加費の一万二千円には、教材費と二日間の昼食代が含まれます。ワークショップで使用する教材は実際の授業で使うものと同じです。ライオンズ・クエストの場合、ワークショップに参加しないと教材を入手出来ないシステムなんですが、そのおかげでクオリティーが保たれていると言えるでしょう」

――導入後の活動はどのようなものが考えられますか。

「本プログラムは学校、親、地域が一緒に取り組むように出来ていますが、地域というのが、ライオンズクラブのことなんです。中でもボランティア体験の項は、まさにライオンズクラブの得意分野です。子どもたちと一緒に奉仕をして頂けるのではないでしょうか」

※編注：ライオンズ・クエストはLCIF四大交付金プログラムで同プログラムの指針に基づき審査され、承認されれば一地区二万五千ドル、二地区以上合同の場合は十万ドルが交付される。

日本のライフスキル教育

――川畑教授も実際にかかわられた埼玉県川口市立芝東中学校のパイロット事業に関してはいかがですか。

「ちょうどライオンズ・クエスト・プログラム導入と同じ年に、総合的な学習の時間が設けられ、芝東中ではこの時間をプログラムに当てて成功しました。タイミングも良かったですね。導入後は生徒の行動が目に見えて良くなっています。しかし、研究者の立場から言うと、比較するサンプルがないため、厳密な評価をするという意味では、若干、ためらいがあるのも事実です」

――評価研究というのは、どのようなものですか。

「生徒の行動が良くなったと主観的に感じるだけでは不十分であり、客観的な数値上でも良くなっていることを証明しなければならないのです。そのためには、同一地域で、似通った環境にある学校をいくつかサンプルとして選び、導入校と、未導入校を比較することが必要です」

――そうすると、今後、日本の他の地域で導入する場合は、その点も踏まえてということになりますか。

「もちろん、これは予算の関係もありますから、無理にというわけにはいきません。が、時間がかかり、遠回りのように思えても、今後、更に広く普及させていくには大事なことだと思います。私は神戸大学に勤務しており、伊丹市に在住しておりますので、関西方面のライオンズクラブが導入される場合、要請があれば、そうした評価研究の面では協力させて頂けると思います」

ワークショップの重要性

――ところで、ライオンズ・クエスト・プログラムを始めライフスキル教育では、ブレーンストーミングやロールプレイングなど、従来の授業にはない手法がとられますが、日本の教育現場に合うものでしょうか。

「日本の教師には教えたがる傾向がありますが、ライフスキル教育では、これが欠点となります。生徒たちにライフスキルを身に付けさせるためには、先生は授業の中では補佐役に徹するべきなのです。教師がライフスキル教育を適切に実施出来るようになるには、子どもたちに習得させるスキルやロールプレイングなどの指導法を指導者自ら体験する必要があります。そのため、ライオンズ・クエスト・プログラムを始めとするライフスキル教育プログラムでは、参加体験型のワークショップをとても重要視しているのです」

――ワークショップに参加された教師の反応はいかがですか。

「私の経験では、小学校の教師は比較的すんなり入り込めるのですが、高校や中学の教師は参加型授業に消極的ですね。生徒が参加するわけがない、という先入観があるようです。しかし、大学生でもロールプレイングの授業には乗ってきます。生徒が恥ずかしがらない工夫をすれば、出来ないわけがないのです。大半の人はワークショップに参加して、自分が変わった、と感動するようです。そして、子どもの気持ちが分かるようになったと言われるようですね」

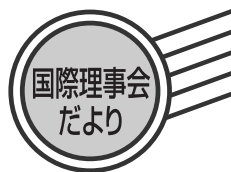
――子どもを変える前に、大人が変わるわけですね。

「人から言われて変えようとするより、自分で気付いて主体的に変えようとする方が変わるのが早いし、達成しやすい。それは大人も子どもも同じです。考えるきっかけを与え、主体的に変わるチャンスを与えるのが、ライフスキル教育なのです」

――今後、日本でライオンズ・クエスト・プログラムを普及させる上で、何かアドバイスを頂けますか。

「各地のライオンズクラブが中心となってワークショップを開催することが、最も現実的な方法ではないでしょうか。その場合、学校の先生が、出張扱いで参加出来るよう配慮してあげることも必要でしょう。例えば教育委員会の後援を取り付けたらいかがですか。確かに民間で開発されたプログラムではあるけれども、教育委員会も積極的に推進しているということが分かると、学校としても導入が容易になります。それと、学校長の理解は欠かせません。校長先生をその気にさせることも、非常に重要な仕事だと思います」

構成／砂山幹博（ルポライター）

国際理事会だより

■国際理事会アポインティー
秦 三郎
（福岡玄海）

第四十三回東洋・東南アジア・ライオンズ（ＯＳＥＡＬ）フォーラムの第一回ステアリング委員会が、二月十三日から十五日、フィリピン・マニラで開催され、テーサップ・リー国際会長、フォーラム委員長、各国委員、日本からの関係者十人が参加しました。

第四十三回ＯＳＥＡＬフォーラムは、二〇〇四年十二月二日～五日、マニラで開催されます。会場はナショナル・コンベンションセンター、本部ホテルはマニラホテル、テーマは「Onward Lionism Through Friendship And Service（邦題未定）」と決定しました。

日本ライオンズは結成から五十二年が経過し、今日では会員十三万人を有する世界屈指のライオンズ国に発展しております。思い起こしますと五十数年前、日本とフィリピンはかつての敵国で、太平洋戦争でマニラ市は戦場となり、その傷跡も深いものがありました。その恩讐を超えて、マニラ・ライオンズクラブのスポンサーにより、ライオンズクラブ国際協会の三十五番目の国

ステアリング委員会の報告

として、日本に東京ライオンズクラブが結成されました。我々の産みの親となったクラブがあるマニラで、ＯＳＥＡＬフォーラムが開催されるということは、半世紀が経過した今日、日本ライオンズにとってたいへん感慨深いものがあります。フォーラム委員会でも、日本ライオンズには二千五百人以上のライオンに参加してほしいとの呼び掛けがありました。テーマであるフレンドシップにこたえ、十二月の寒い日本から暑い南の国・マニラのＯＳＥＡＬフォーラムに、一人でも多くの参加をお願いします。

さて、ステアリング委員会開会のあいさつの中でリー国際会長は、近年のライオンズにおける世界的な会員の減少に触れられました。大きな危機感が否めぬ中で、ＯＳＥＡＬ地域だけは会員増を見ることが出来、たいへん喜ばしいことであり、これからもより一層、会員増強への努力をお願いしたいこと、ライオンズクラブが世界最大の奉仕団体としての地位を保つためにも、最も必要とされる人材の確保と、一人でも多くの奉仕の仲間、その力となる女性会員の入会を強く勧めてほしいと要請されました。

二〇〇五年には日本の仙台で、第四十四回ＯＳＥＡＬフォーラムが開催されます。日本では八回目、東北地方では初めてのフォーラム開催です。現在332複合地区のフォーラム組織委員会では着々と準備を進めておられます。そしてこれを成功させるためには日本ライオンズの皆さんの協力も不可欠です。よろしくご協力お願い致します。

さて皆さん、第八十七回国際大会の登録は済まされましたか。二〇〇四年の国際大会はアメリカ・デトロイトとカナダ・ウィンザーの両市にまたがって開催されます。ご存じのように、デトロイトは自動車産業の町です。ウィンザーはアメリカ合衆国以外に最初にライオンズクラブが誕生した町です。一九二〇年三月のことでした。ライオンズクラブ協会の名称が国際協会となった、歴史ある古い町です。

国際大会は年に一度、全世界のライオンたちが一堂に会し、友情の輪を広げ、情報を交換し、国際協会に対して忌憚のない意見を述べる場です。特に若いメンバーや女性会員、まだ国際大会に参加されたことがない会員の皆さんの参加をお勧めします。自分もライオンズという国際的な組織の一員であるという自覚をより一層強く感じられるはずです。そして地域社会や国内、国際的な奉仕活動を行うためのエネルギーを吸収してください。

長野でオープニング・アイ・プログラム実施

二月二十七日から二十九日、「つながる、ひろがる、笑顔の結晶」の大会テーマの下、第三回スペシャルオリンピックス日本・冬季ナショナルゲームが、長野県で開催された。スペシャルオリンピックスとは知的発達障害のある人たちに、さまざまなスポーツ・トレーニングと発表の場である競技会を、年間を通じて提供する国際的なスポーツ組織。今回の大会には二十七都道府県と十一の国と地域から、約七百人の選手及び約四百五十人のコーチ、スタッフらが参加した。

大会期間中、会場では、選手たちの健康維持や改善のためのヘルシー・アスリート・プログラムが実施された。同プログラムには目、耳、歯、栄養の四分野があり、このうち目の検診は「オープニング・アイ・プログラム」という名称で、資金はLCIFから出ている。今回の長野では㈱キクチメガネの協力を得て実施され、地元334‐E地区の会員もボランティアで参加。視力、色覚、立体視、屈折、眼圧など細かい検査が行われ、緑内障が見つかるなど、大きな成果を挙げた。二〇〇五年にはスペシャルオリンピックス冬季世界大会が、同じ長野県で開催される。これを機に、多くの人がスペシャルオリンピックスに関心を持ち、支援の輪が広がることが期待される。

スペシャルオリンピックス冬季世界大会支援事業

昨年十二月十九日に開催された第四回八複合地区ガバナー協議会議長連絡会議に、334‐E地区の松本東地区ガバナーらが出席し、二〇〇五年スペシャルオリンピックス冬季世界大会への協力を求めた。同地区の案によると、334複合地区以外の会員は一人当たり三百円、E地区を除く334複合地区は五百円、334‐E地区三千円で、全日本ライオンズとして合計約五千万円を、地域や学校単位で代表団を受け入れ交流を図る「ホストタウン・プログラム」のために使用するという。

また、二月三日に開催された第五回議長連絡会議には、特定非営利活動（NPO）法人スペシャルオリンピックス日本の細川佳代子理事長（細川護熙元首相夫人）が出席され、

スペシャルオリンピックスの概要と八十カ国からの参加が見込まれる冬季世界大会について説明。先に334・E地区から提案された支援事業とオープニング・アイ・プログラムでのボランティア、及び大会に先駆けて日本各地で行われる「500万人トーチラン（聖火リレー）」への協力を要請した。これを受け、議長連絡会議では細川理事長に出来るだけの支援を約束、各地区を通じ334・E地区案に沿ったサポートを要請することにした。

2月3日、東京・日本橋の日本ライオンズ連絡事務所で開催された第5回議長連絡会議でスペシャルオリンピックス冬季世界大会への支援を訴える細川理事長

「愛・地球博」支援事業への協力金

来年三月に開幕する二〇〇五年日本国際博覧会（愛・地球博）への支援事業協力について、二月三日に開催された第五回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議に334・A地区から提案書が提出され、各地区年次大会の提出議案とすることが了承された。提案書によると、事業計画と協力金拠出は以下の通り。

〈事業計画〉

一、未来を託す青少年（小中学生）を全国から募り博覧会に招待する

●支援金を三十二準地区に再分配し、各地区が招待者を選定して期間中に定めた「ライオンズ・デー」（七月下旬の夏休みを予定）に合わせて招待して、イベント開催や国際交流を企画する

二、博覧会運営に伴う福祉関係にも奉仕の輪を広げる

●バリアフリー及び医療、救急用品などライオンズの奉仕に相応しいものを選定する

〈拠出金〉

334・A地区が会員一人当たり九千円、334・B、C地区二千四百円、334・D、E地区千円を今年度と次年度の二回拠出。334複合地区以外の地区は千円を、今年度のみ拠出。全日本ライオンズで総額約二億六千万円を集める。

「愛・地球博」は日本では大阪万博以来、三十五年ぶりの大規模な万博となる。開催期日は二〇〇五年三月二十五日から九月二十五日までの六カ月で、テーマは「自然の叡智」。二十一世紀の人類が直面する地球規模の課題の解決の方向性と人類の生き方を発信し、新しい文化・文明の創造を目指している。

マニラ・フォーラムの第一回ステアリング委員会

第四十三回東洋東南アジア・ライオンズ・フォーラムは、今年十二月二日（木）から五日（日）までフィリピン・マニラで開催される。その第一回ステアリング委員会が二月十四日マニラで開かれ、以下の内容が話し合われた。本部ホテルはマニラホテル、主な日程は▼開会式＝三日十四時半（フィリピン・コンベンション・センター）▼国際会長歓迎晩餐会＝四日十九時半（本部ホテル）▼閉会式＝五日九時半（本部ホテル）。フォーラム・テーマは"Onward Lionism Through Friendship And Service"（友愛と奉仕を通じてライオニズムの前進を〈本誌訳〉）。フォーラム組織委員会（ペドロ・バルバネーロ委員長）は、日本から二千五百人以上の参加を期待している。

●第十六回国際平和ポスター・コンテスト結果

「明るい明日を築こう」のテーマで行われた二〇〇三・〇四年度ライオンズクラブ国際平和ポスター・コンテストの審査が終了し、受賞者が発表された。最優秀賞を受賞したのは、イタリアのヴィットリア・サンセバスチアーノさん（十二歳）で、スポンサーはノビ・リグーレ・ライオンズ。ヴィットリアさんと同クラブ会長は、三月十二日にニューヨークの国連本部ビルで開かれた国連ライオンズ・デーでの授賞式に招待され、ヴィットリアさんに賞金二千五百ドルと記念の盾が、ノビ・リグーレ・ライオンズとヴィットリアさんが通うサンセバスチアーノ・スクールに盾が贈られた。最終審査に残った二十三人が優秀賞を受賞したが、日本からの受賞者はなかった。

第十七回国際平和ポスター・コンテストのテーマは、「平和な世界はつくれる!」。コンテスト・キット（送料別十五・五ドル）は、ライオンズ日本事務所（TEL：〇三-三四九四-二九三一　FAX：〇三-三四九四-二九三三）で販売している。受賞作品やコンテスト日程などの情報は、公式ウェブサイト「青少年プログラム」のページで見ることが出来る。

インパクト・プログラム情報
◉地区分割を目指し3年計画でエクステンションを進める 336-A地区

今年度上半期のインパクト・プログラムの状況が、エリア（日本）インパクトチーム（多久良男リーダー）から発表された。新クラブ結成数は十二、会員数は四百四十四人の純増だった。

新クラブは335・B、336・A、337・Cの三地区で二クラブずつの結成、その他331・A、332・B、333・A、333・B、334・A、336・Bの六地区が一クラブずつの結成となっている。会員数は十九地区がプラス、十三地区がマイナスとなっている。純増数が多かったのは336・A百二十八、333・C九十二、337・C七十七の順。

一方、現在進行中のエクステンションに関しては、確定数が日本全体で三十クラブ、見込み数が五十四と報告されている。すべて結成された場合、今年度末までには九十六の新クラブが生まれることになる。

このうち十一月に香川県・高松空港ライオンズ、十二月に徳島すだちライオンズを結成し、会員純増も最多の百二十八人を記録している336・A地区（石井俊夫地区ガバナー）は、年度当初の七～八月に、川西達大地区インパクトチーム・リーダーが音頭をとり、各クラブ会長に一人以上の新会員招請を依頼。「会長がよくがんばってくれたのが、今の数字に結びついている（川西リーダー）」という。

十二月結成の徳島すだちライオンズ（松田比呂紀会長／35人）は平均年齢三十九歳。質素を旨として開放的な運営を心掛け、会員の経験を生かした知恵と汗による労力奉仕を主とする、男女共同参画型のクラブを目指すという。

336・A地区は四国四県を各県ごとに地区分割することを目指し、三年計画で会員増強とエクステンションを積極的に推進している。その甲斐あってこの四月にも高松グリーン・ライオンズの結成が確定。更に現在、川西地区インパクトチーム・リーダーの発案で、四国四県の在日韓国人グループに声を掛け、各県一クラブずつ韓国系会員を中心としたクラブ結成を目指している。徳島県では民団徳島県本部の団長が、既に小松島ライオンズに所属しているため、話は早かったが、他の三県の民団に関してはライオンズクラブ自体の説明に始まり、アクティビティや運営面など、細かな点まで配慮して話を進めている。

INNOVATION

336・A地区は韓国の354・D地区と地区同士の姉妹提携を結んで十五年になり、四月の年次大会には提携十五周年を記念して、韓国から五十人近い会員が参加する。同地区ではこの機会を利用し、各県の民団代表を大会に招き、ライオンズの理解を深めてもらうと共に、本国の会員からも話を聞く機会をつくろうと考えている。

現在、日本には東京王仁、兵庫県・宝塚王仁、京都王仁の三つの在日韓国人クラブがあるが、336・A地区でのエクステンションが実現すれば、その数は一気に七クラブになると共に、同地区が年度当初に掲げたエクステンション目標数にも近づくことになる。今後の展開に注目したい。

会員増強を目指して――
国際会長による
ダイヤモンド・チャレンジ

テーサップ・リー国際会長は、二〇〇三・〇四年度に二人以上の会員数を純増させたクラブの会長を顕彰する、革新的な制度を発表した。

「ダイヤモンド・チャレンジ」は、クラブ会長が自らのクラブと国際協会全体の強化にリーダーシップを発揮したことに対して、その名誉を称え、感謝を表すのにふさわしい方法であると、リー会長は述べている。

今年度は特に、リー会長が女性の参加拡大に力を注いでいることもあり、会員数増加の勢いが強まりつつある。最新の報告によれば、〇三年七月一日以降に世界中で一万四千四百人以上の女性がライオンズ会員に加わっている。

この新しいチャレンジは、クラブ会長が会員の増強に更に大胆なリーダーシップを発揮出来る機会であると共に、よりよい地域社会を築くことに関心を示す男性たち、女性たちに更なる招請を促すものである。

各クラブの会長には、既にダイヤモンド・チャレンジの目標や内容を明記したリー会長からの書簡が発送されている。その条件は明快である。

以下に示す規準に基づいて、クラブ会長に一～五個のダイヤモンド入り会長用襟章が支給される。

●二〇〇三年度の会員純増二人につき、ダイヤモンド一個の評価がクラブ会長に与えられる。会員が四人純増した場合はダイヤモンド二個入りの襟章、六人で三個、八人で四個。この年度内に十人以上の純増を達成した場合には、このチャレンジの最高位であるダイヤモンド五個入りの襟章が贈られる

●クラブの会員増強の成果に見合った襟章一個が、二〇〇三年度の終了後に、国際本部からクラブ会長あてに送られる。このプログラムの対象となるのは、〇三年七月一日に活動しているすべてのライオンズクラブと、この日以降に認証されたクラブ。いずれも二〇〇四年六月三十日現在で存続していなければならない

今年度、会員増強を果たしたクラブ会長たちは誇りを持ってこの襟章を付け、会長の任期を立派に果たしたことを思い出すことになるだろう。リー会長は、このチャレンジが成功を収めることを信じている。

「このチャレンジが、これから先の数カ月間、私の心をエネルギーで満たしてくれます。皆さんが将来、このダイヤモンドを受け取れますように!」

NEWS CASSETTE

地方リーダーシップ研究会の申請について

二月三日に開催された第五回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議において、大久保彦国際理事から地方リーダーシップ研究会について説明があり、次年度にリーダーシップ研究会を開く予定がある複合地区は国際協会に申請書を提出するよう指導があった。地方ライオンズ・リーダーシップ研究会プログラムは、複合地区が開催するリーダーシップ研究会に対して、国際協会が補助金を交付するもの。「上位ライオンズ・リーダーシップ研究会」など、国際協会が主催するリーダーシップ研究会に基づいた内容の研究会が対象となる。

昨年度は、アメリカ、イギリス、台湾、インド、ナイジェリアなど二十一の複合地区がこのプログラムを利用してリーダーシップ研究会を開催している。補助金は参加者一人につき百四十三ドルで、一万ドルもしくは研究会経費総額の五〇パーセントが上限となる。次年度開催分の国際本部への申請期限は四月三十日。大久保国際理事によると、補助金申請書は既に各複合地区のリーダーシップ委員長あてに送付されているとのこと。

Focus on Leos

■福岡県・大牟田レオクラブ

募金と障害者交流。心通う活動を市民に伝えたい

大牟田レオクラブ最大のアクティビティと言えば、スポンサー・クラブの大牟田ライオンズクラブや大牟田中央ライオンズクラブなど市内五つのライオンズと共に行う、「二十四時間テレビ～愛は地球を救う」における街頭募金活動だ。年に一度の大規模なアクティビティである上、注目度も高いとあって、レオたちはいつも以上の張り切りぶりを見せる。

募金活動には一般の人々にも参加を呼び掛ける。興味を持って集まったボランティアとは、本番までの間に三～四回ほどミーティングの機会を設け、スポーツや、本番に向けて声出しの練習などをして、コミュニケーションを図った。当日は、レオ・メンバーとボランティアの計三十人が、三カ所の会場に分かれて募金を行い、感動のうちに活動を終えた。

二十四時間テレビのほかに、十一月二十三日、三十日の二週にわたって、市内の大型ショッピングセンター、ゆめタウン大牟田店で盲導犬育成のための募金活動も行った。こちらは初めての取り組みだったため、最初は多少の戸惑いを見せたレオたちだが、慣れてくると、いつものように大きな声で呼び掛けることが出来た。

十二月二十四日には、そのゆめタウン大牟田店の依頼で二十四時間放送「ラジオ・チャリティー・ミュージックソン」の募金活動を手伝った。これは、目の不自由な方が安心して街を歩けるように「音の出る信号機」を設置するための基金。レオ・メンバーは少人数ながらも音の出る信号機の設置のために、汗を流した。

同レオクラブの継続事業の一つに、身体障害者授産施設・大牟田恵愛園へのアクティビティがある。恵愛園とは年に数回の交流の場を設けている。八月一日の夏祭りを始め、九月の恵愛園祭り、十二月二十五日の大掃除とお疲れさん会、そして明けて一月の新年会とおでん大会で、レオたちはこれらの機会をとても大切にしている。

恵愛園でのレオたちの活躍ぶりは本格的で、食事介助にまで及ぶ。

「レオ・メンバーの中には将来、福祉の仕事に携わりたいと考えている者が何人かいます。そういう意味では、食事介助はとても良い勉強ですし、人との接し方など人として成長出来る良い機会です。今後も恵愛園ではいろいろな行事に参加したいと思っています」と、青少年育成委員長のライオン五郎丸栄男は話している。恵愛園以外では、昨年八月九日、知的障害児通園施設りんどう学園の夏祭りに初めて参加している。

現在は二十一人で活動している大牟田レオクラブだが、会員維持に頭を抱えている。現在のメンバーは、十八～十九歳が多く、受験や就職で退会者が続出しそうだという。五郎丸委員長は、この危機に対しても前向きだ。

「クラブの中でいちばん若い中学生メンバーを中心に、新たなメンバーを誘っていきたい。具体的な方法として、ポスターなどを駆使して、出来るだけ大牟田レオクラブの名を市民の間に広げていこうと考えています」

LCIF In Action

恐ろしい災害の衝撃を和らげる
LCIFの災害救援

ＬＣＩＦは災害の被害にあった何百万もの人々を援助しているが、それによって救われた人々の話を知ることで、この援助がどれほど大切なことか気付かされることが多い。

地震で自宅が崩壊したトルコのある母親は、ＬＣＩＦの資金援助によって出来た新しい家や新しいライオンズの友人たちについて夢中で語る。

「ライオンズは私に、もう一度生きることを教えてくれました。私は流した涙を忘れずにこう言いたいわ。世界中の人が皆、ライオンズのようにいい人ばかりだったらいいのに」

洪水、竜巻、地震など、常に地球上のどこかで大きな災害が起こっているが、同じくらい確実に、ライオンズはＬＣＩＦを通じてコミュニティーが残骸の中からもう一度立ち上がれるよう災害救援をしている。

ＬＣＩＦは毎月、局地的災害に対して十件あまりの緊急援助金を提供している。大災害については、ＬＣＩＦ大災害援助金を提供すると共に、ライオンズから指定献金を受け付け、長期的な救援計画を実施する。

二〇〇二・〇三会計年度に、ＬＣＩＦが承認した緊急援助金は百六十二件、百四十万ドル。ほとんどの援助金は一万ドルで、被災者に食料、衣類、薬品を提供するために使われる。この援助金によって、地域のライオンズは自分たちの地域社会を支援することが出来る。これまでに、オーストリアの洪水、パラグアイの着氷性暴風雨、メキシコのハリケーン、韓国の台風、アメリカ中西部の竜巻など多くの災害で、ライオンズの活動を援助している。特に広範囲にわたる災害では、ＬＣＩＦが複数の援助金を承認する場合も多い。

災害は人間の手で引き起こされることもある。アメリカでは二〇〇一年九月十一日の同時多発テロによって、親を失った子どもや仕事を失った親、悲しみや苦しみに対応出来ない家族が残された。ＬＣＩＦとライオンズは、九・一一災害救援基金の三百万ドルによって、被害者とその家族に援助と希望と癒しをもたらしている。

この基金によって、ライオンズは伝統的な直接参加の奉仕を行うと共に、九月十一日の出来事で大きな影響を受けた家族が、特に必要としている社会的・精神的ニーズに対応することが出来た。現在、約二百万ドルがそれぞれのプロジェクトに振り向けられている。現在も、直接被害を受けた六つの州のライオンズによる「ライオンズ九・一一運営委員会」が定期的に会合を開き、救援計画を策定している。

悲しいことだが、災害は生活の一部である。どの国でも被災者が出ている。その中でＬＣＩＦは迅速な支援で被災者を慰め、暗い時期に少しでも太陽をもたらそうとしているのである。

NEWS CASSETTE

●二〇〇二年度の世界のアクティビティ金額

各クラブが提出した年次クラブ・アクティビティ報告書の集計が完了し、国際協会から昨年度のアクティビティ実績が発表された。それによると世界の全クラブのアクティビティ金額は年間で総計六億六、七〇〇万ドル、一クラブ当たり一万四、五七七ドル。労力時間は総計六、五〇〇万時間、一クラブ当たり一、四二〇時間。九九年度に年次クラブ・アクティビティ報告書が導入されて以来、この四年間に最も多くのクラブが携わったのは高齢者福祉で、全体の五一パーセントのクラブが実施。以下、中古眼鏡収集（四一パーセント）、奨学金（三七パーセント）、青少年のレクリエーション／スポーツ（三七パーセント）、地域清掃（三四パーセント）、献血（三〇パーセント）と続いている。また、世界中のライオンズクラブで集められた中古眼鏡の数は七三〇万個、中古補聴器の数は一七万個に上った。

本誌集計（〇二年十二月号掲載）では、〇二年度日本ライオンズのアクティビティ総額は、五五億六、六〇〇万円、一クラブ当たり約一六四万円。青少年関係が件数、金額とも最も多く、次いで件数では献血、環境保全、金額ではLCIF、環境保全と続いている。

会議録　1月 2月　主な議題だけをまとめました

複合地区会則委員長連絡会議

第三回複合地区会則委員長連絡会議は一月二十日、東京・日本橋の日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①二〇〇四・〇五年度『役員必携』の改訂、②議長連絡会議への提案事項、③地区年次大会議事規則標準版の改訂、④国際理事候補者選挙管理委員会の推薦投票、⑤『ライオンズ必携』第四十四版の改訂、⑥その他について協議した。

②は1国際付則第一条　終身会員の例会定期出席義務、2クラブ会員数を十人以上と規定する理事会方針について。

⑤は1必携の注文方法、2各委員長に改訂個所の確認を依頼。

⑥はクラブ会則第九条紛争解決について意見交換。

ライオン誌日本語版委員会

第七回ライオン誌日本語版委員会は一月二十三日、東京・築地のライオン誌日本語版事務所で開催され、①二月号（一月二十日発行／十三万二千五百部）出来、②三月号以降台割と主要記事予定、③『ライオンズ・スクール』初級編、中級編、上級編、④二〇〇三・〇四年度上半期決算、⑤『ライオン誌』韓国語版委員会代表の委員会訪問について協議した。

②は今後のTHEMEとして三月号「リーダーシップ」、四月号「青少年」、五月号「LCIF」を取り上げる。六、七月号の「臓器移植」「障害者自立支援」について各地区に情報提供を依頼。

⑤は次回委員会を『ライオン誌』韓国語版委員長以下四人が訪問。

複合地区ガバナー協議会議長連絡会議

第五回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議は二月三日、東京・日本橋の日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①日本ライオンズ連絡事務所所長任免の件、②国際役員からの報告、③LCIF、④各委員長連絡会議報告、⑤二〇〇五年日本国際博覧会（愛・地球博）、⑥二〇〇五年スペシャルオリンピックス冬季世界大会、⑦その他について協議した。

①は1十二月二十九日の緊急管理委員会の報告、2新人事に対し、複合地区ガバナー協議会の合意を得、各複合地区ガバナー協議会議長が同意の署名。

②は1地方リーダーシップ研究会の補助金申請について、2新クラブ結成と会員増強の最新情報、及び次年度の地区構成におけるインパクト・リーダーの位置づけについて。

③は1LCIFセミナー開催は東日本・二月二十五日、西日本・二十七日、3カリフォルニアの山火事及びイラン地震への援助は全日本としては採り上げない。

⑤は会員一人当たり千円拠出について、年次大会提出議案を了承。

⑥は1細川佳代子スペシャルオリンピックス日本理事長から大会開催支援依頼、2同大会に対しライオンズとして総額約五千万円の支援を約束。

⑦は1ガバナー協議会議長の選出、2OSEALフォーラムの日本開催について。

日本ライオンズ連絡事務所管理委員会

第四回日本ライオンズ連絡事務所管理委員会は二月九日、東京・日本橋の日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①事務所所長後任人事に関する各複合地区の同意、②二〇〇三・〇四年度上半期日本ライオンズ連絡事務所会計報告、③就業規則及び給与規定、④法律顧問、⑤マニラ・フォーラム第一回ステアリング委員会への職員派遣について協議した。

①は1第五回議長連絡会議での同意及び署名の報告、2濱田智子新所長の正式就任。

④は佐久間保夫弁護士（東京本郷ライオンズクラブ）の推薦。

⑤は二月十四日の委員会に濱田所長を派遣。

日本最大クラブは会員数一六四人の山梨県・南アルプス

本誌集計によると、二〇〇三年十二月末現在で会員数が最も多かったのは、山梨県・南アルプス・ライオンズクラブの一六四人。以下十位まで、静岡県・浜松一五九、群馬県・高崎一三三、福岡県・田川一二三、福岡県・飯塚一二一、愛知県・岡崎南一一九、秋田県・大曲／愛知県・江南一一五、岐阜県・大垣東一一三、岐阜南／大阪府・茨木一一二と続いている。会員数が百人を超えるクラブは、全国に二十一クラブあった。

上半期、成長著しい韓国と台湾のライオンズ

国際協会集計によると十二月末現在、会員数の多い国トップ五はアメリカ四二万二、六九九人（一万三、七三五クラブ）、インド一四万五、〇二二（五、二二九）、日本一二万九、六一三（三、四〇五）、韓国七万三、四六七（一、八〇一）、イタリア四万九、四五二（一、一九九）。韓国は期首から一、一四四人、四一クラブ増加。またフランスを抜いて九位に浮上した台湾は三万一、八六七（九三〇）で、上半期で既に会員数六・六パーセント、クラブ数一・七パーセント増加の躍進を遂げている。

ＬＣＩＦ交付金の申請期限

ＬＣＩＦへの交付金申請は、秋季と春季、それに国際大会直前の国際理事会に合わせて開かれる年三回のＬＣＩＦ執行委員会で審査され、承認を受ける。申請書の締切は執行委員会開催日の六十日前で、次回、デトロイト／ウィンザー国際大会直前の六月二十九日に開かれるＬＣＩＦ執行委員会で審査を受けるためには、四月二十九日までにＬＣＩＦへ申請書を提出しなければならない。

一回の執行委員会に申請出来るのは一地区二件までで、年間に六件まで可。申請にはキャビネット会議の承認が必要となる。

新結成／クラブ名称変更

■新クラブ結成

群馬県・尾瀬片品▼結成順位／三五二七▼一月十五日結成▼萩原岳雄会長▼事務局／利根郡片品村鎌田四〇八二　星野物産㈱内（〒378・０４１５）TEL〇二七八・五八・二〇〇五▼スポンサー／沼田利根

京都チェリー▼結成順位／三五二八▼一月二十八日結成▼磯部寿子会長▼事務局／京都市東山区三十三間堂廻り町六六四・二　京都パークホテル内二九八号室（〒605・０９４１）TEL〇七五・五六一・二二〇三▼スポンサー／京都堀川

長崎県・佐世保えぼし▼結成順位／三五二九▼一月二十九日結成▼堤堅寿郎会長▼事務局／佐世保市立神町二三・一七（〒857・００６３）TEL〇九五六・二二・二〇七七▼スポンサー／佐世保中央

■クラブ名称変更

愛知県・名古屋→名古屋ホスト

訃報（元国際役員）

ライオン藤岡京一（大阪ノース・ライオンズクラブ）
十二月二十六日死去、96歳。六二年入会。八〇、八一年度335・B地区ガバナー。

ライオン稲波泰一（愛知県・一宮中ライオンズクラブ）
一月二十一日死去、89歳。六五年入会。八一年度334・A地区ガバナー。

ライオン平下武千代（島根県・江津ライオンズクラブ）
一月二十三日死去、97歳。六〇年入会。七八年度336・D地区ガバナー。

ライオン繁田信（長野白樺ライオンズクラブ）
二月四日死去、74歳。七四年入会。九五年度334・E地区ガバナー。

ライオンズのための分かりやすいIT講座

■第四回　国際協会のサイトを覗いてみよう

■文／砂山幹博

今月はインターネットを使ってライオンズクラブを勉強してみよう。教材は、国際協会公式ウェブサイト(www.lionsclubs.org)。ライオンズの歴史や各種プログラム、ニュースだけではなく、全クラブの検索機能まで備え、ライオンズのすべてを網羅したと言っても過言ではないサイトだ。では早速、覗いてみよう。

コンテンツって何？

最初に現れるのは、十一カ国語の選択画面。「日本語」を選ぶと、「Ｗｅ・Ｓｅｒｖｅ」など見慣れた言葉が並ぶページへとジャンプする。ページ上方の黄色の帯に注目してほしい。左から「ライオンズとは」「視力関係プログラム」「青少年プログラム」「その他のプログラム」「情報資源」「ニュースとイベント」と、六つのメニューが並んでいる。

試しに「ライオンズとは」をクリックしてみると、ライオンズについて概要を記した文言が現れる。今度は、先ほどの黄色い帯の真下に注目してほしい。新たに茶色の帯が現れ、「歴史」「会員」「組織」「国際役員」「ＬＣＩＦ」の五つの項目があるのがお分かり頂けるだろうか。

インターネットの世界では、情報の内容を「コンテンツ」と呼ぶが、これら五つの項目は、「ライオンズとは」というコンテンツの中にある更に細分化されたコンテンツである。同様に黄色い帯の「視力関係プログラム」や「青少年プログラム」の中にも、茶色の帯のコンテンツが存在する。

多くのホームページは、こうした複数のコンテンツが集積して出来ている。国際協会のサイトも非常に多くのコンテンツから成り立っているため、必要な情報にたどり着くまでに何度もページが切り替わり、たまにサイトのどの部分を見ているのか分からなくなることがある。そんな時に便利なのが「サイトマップ」だ。

簡単に言えばサイトの構造を視覚的に表したものである。閲覧者はサイトマップを見ることで、サイト全体の構造を理解出来る上、各コンテンツにたどり着きやすくなる。国際協会のサイトでは、ページの左下に「サイトマップ」の表記がある。クリックすると、先ほど黄色や茶色のメニューバーにあったコンテンツが文字で列挙されているのがお分かり頂けるだろうか。

多彩な情報を網羅

サイトマップのメニューをざっと見ていくと、「歴史」の中には、ライオンズクラブ創設者の一生を綴った「メルビン・ジョーンズ評伝」や「ヘレン・ケラーのスピーチ」などがある。「ヘレン・ケラーのスピーチ」では、一九二五年のオハイオ州セダーポイント国際大会における彼女のスピーチの全文を読むことが出来る。このスピーチが元で、ライオンズにおいて視力関係のアクティビティが広がったことを考えると、非常に興味深いコンテンツである。

また「写真で見る歴史」(フラッシュ・プレーヤーが必要)では、紙芝居を見るように、写真でライオンズクラブの歴史に触れることが出来る。

黄色の帯にある「ニュースとイベント」では、国際協会からの最新ニュースとインフォメーションや、ライオンズクラブ国際財団(ＬＣＩＦ)のニュースを入手出来る。「ライオ

ンズの国際的な活動などなかなか知る機会がない」とお思いのライオンも多いのではないだろうか。が、実はこうしてサイトを通して容易に入手出来るのである。

ライオンズ知識の宝庫

「情報資源」の中にある「学習センター」（フラッシュ・プレーヤーが必要）は、音声で国際協会の歴史や組織について説明してくれる便利なコンテンツだ。全部で「歴史」「会員」「組織」「プロトコール」「バッジ」の五つの単元から構成されており、ライオンズクラブ創設の概要や、会員になる方法、公式プロトコールなどを理解することが出来る。

同じく、「情報資源」の中の「クラブ検索」では、全世界のライオンズクラブとレオクラブを検索出来る。検索方法には、クラブ名で探す「クラブ名検索」と、「国別検索」がある。「クラブ名検索」は、探したいクラブ名を半角のアルファベットで入力して検索する。ほとんどのクラブが所在地をクラブ名称に使用しているので、まず地名を入力するのが、検索への近道。「ｔｏｋｙｏ」と打ち込んでみると、名前に「ｔｏｋｙｏ（東京）」と付くクラブがリストアップされた。もちろん海外のクラブ検索も可能だ。海外出張や旅行の際、メーク・アップの予定があれば、この機能を知っておくと便利である。

このように「情報資源」のコンテンツには、ライオンズクラブのメンバーにとって有益な情報が詰まっている。インターネットならではのメリットもある。誌面の都合上、説明は次号に譲るが、これまで郵送などで入手していた国際協会発行のパンフレット類も、このサイトから簡単に入手することが出来るのだ。

IT虎の穴

明日のためにその四

イラスト：藤英毅

こんにちは、瞳です。毎月決まった仕事の一つに月例会員報告書の提出があります。φ(..)

今回、そのマンスリー・レポートを国際協会のウェブサイトを利用して提出することにトライしてみました。今までは、月末の会員動向を国際協会から送られてくる月例会員報告書の用紙に記入したものを国際郵便で発送するのに毎月110円の切手を貼っていました。でも、今回からはインターネットに接続するだけで、それも実に簡単かつスピーディーに報告出来ることが分かって、なんだか得した気分になってしまいました。

ただ一つだけ注意しないといけないことは、提出に当たってはクラブのIDコードとそのパスワードが必要だということです。これは今期の初めに国際協会から送られてきていたので、その通りに入力しました。もしクラブに届いていない場合は、本部に問い合わせる必要があるみたいです。

パソコン初心者……、いや私は事務局としてもまだ新人ですけど、入力する項目は実にシンプルで、それほど迷うこともありませんでした。画面の指示通り落ちついてゆっくりと入力をして、入力した項目を再度確認しながら、最後の提出完了ボタンを押すまで間違わないように進めていけば、来月からはもうポストに投函することもなくなり、楽だと思います。v(^_^)

慣れないうちは、やっぱり不安なことが多いので、この間知り合った別のクラブの事務局にお勤めの久美子さんにいろいろ教わっています。久美子さんの話によると、やはり最初は戸惑いが多かったそうですが、準地区のホーペ―ジにもいろんな情報が載っているそうで、それを参考にしたそうです。今回、私はライオン誌の月例会員報告もトライしてみました。ライオン誌日本語版のマンスリー・レポートに関するページを参考にしました。

http://www.lionsclubs.org/JA/content/　thelion_monthly.html

また次号でお目にかかりましょう。

■ここに登場する人物または団体はすべて架空のものです。ヽ(￣ε￣)ノ

CLUB REPORT クラブ・リポート

●この欄ではライオンズクラブ、レオクラブ、ライオネスクラブの活動報告を扱います。詳しい投稿要領は三月号56ページをご覧ください。

埼玉県・和光ライオンズクラブ
米軍将兵ホームビジットを受け入れ

和光ライオンズクラブ（柴崎豊明会長／38人）では一月二十一日、朝霞陸上自衛隊の要請で米軍将兵ホームビジットの受け入れを行いました。自衛隊朝霞駐屯地に日米共同演習のために来日した米軍将兵に日本の生活や文化などを体験してもらい、日米相互理解と友好親善を促進しようというものです。

本来のホームビジットは数人を家庭に招き、日本の生活を体験してもらうものですが、今回はメンバー全員で対応ということで、レストランを貸し切っての実施。参加者は、ウィリアム・ヘンセル中佐を始め男性将兵十八人、女性将兵二人の合計二十人（年齢は十九歳から四十六歳）。

最初は日本同士、米軍将兵同士でかたまりがちで固い雰囲気でした。が、メンバーとお孫さん（四歳）による可愛い歌に日米双方が大拍手。一気に和やかになりました。その後は和気あいあいの中で、メンバーの三味線演奏や書道、ビンゴゲーム、プレゼント交換などで盛り上がり、約二時間三十分があっという間に過ぎたとても楽しいひとときでした。

ホームビジットを通じて、メンバー一同日米親善と相互理解に役立ち、大いに満足した次第です。今回で二度目ですが、今後も機会があれば進んで協力したいと思っています。

（PR委員長／川島義之）

（編）書き初め初挑戦の将兵さんたちでしたが、書道の先生（メンバーの夫人）のご指導もあって初めての毛筆とは思えないほどの出来栄え。全員大切に持ち帰ったそうです。

連絡先→TEL〇四八・四五一・一一五一

山口県・新南陽若山ライオンズクラブ
アイバンク基金チャリティー盛大に

新南陽若山ライオンズクラブ（河村智会長／25人）は十月二十六日、第十三回アイバンク基金チャリティー・ショーを開催。カラオケショーでは、本格的なステージで、八百人もの観客を前にスポットライトを浴びて歌えるとあって、町のスター八十四人がエントリー。この日のために衣装を整え、開演十一時の二時間も前から興奮気味。まさにゲートに入った競走馬のよう（いや失礼）。今回は演歌歌手・上杉香織里さんのオンステージもあり、大盛況で、幕を降ろしたのが夕方五時になりました。

同ショーと春の福祉祭りはクラブの二大事業。成功の秘訣は地域の団体を巻き込み、地域に根付いた奉仕活動であること、そして共に楽しむこと。会員減少が問題になっている昨今、我がクラブは徐々に会員数を増やしています。奉仕の精神にあふれた人材の入会と、目的が明確な活動、事業資金はアクティビティで獲得という基本スタイル徹底の成果だと思います。（大会委員長／松田光正）

（編）収益金の中から、アイバンク基金に約四十五万円、社会福祉協議会へ十万円を寄贈、献眼登録七十八人も受け付けたそうです。

連絡先→TEL〇八三四・六一・一〇五六

奈良県・天理ライオンズクラブ

第10回「天理の第九」演奏会

十年前、天理ライオンズクラブ（足達幸弘会長／67人）のチャーター・ナイト三十周年記念事業として、歴史と文化の町天理にふさわしい事業創造をとの思いから、ベートーベン「第九」演奏会を企画、実施することになりました。手作りの「第九」をモットーに、オーケストラは地元天理高校の管弦楽団（生徒・ＯＢ）を中心に結成。ライオンズの呼び掛けに応じてくれた十代から八十代までの幅広い年代層を含む約二百人の合唱団員でスタートを切りました。

以来、回を重ねるにつれ天理市民に評価され、今や「天理の第九」は天理市の師走恒例の一大イベントとして定着するまでになりました。ここに天理ライオンズクラブが目指した市民による手作りの「天理の第九」が出来上がったと喜んでいる次第です。

今回で第十回目を迎えるに至りましたが、演奏会は市民会館改装中のため、お隣りの大和郡山市の郡山城ホールを借りて実施しました。

渡邊康雄先生指揮の下、黙々と練習を続けてきた、八十人の管弦楽団と二百人の合唱団が織り成す歓喜の歌に約千人の観客も時の経つのも忘れて酔いしれていました。まさに三者一体となった郡山城ホールでした。

（情広報委員長／藤本吉孝）

イラスト／篠田和夫

（編）「天理の第九」をきっかけに、天理市民によるオーケストラが結成されることになり、天理シティーオーケストラとして第八回から演奏しているそうです。すっかり市民に定着した演奏会となりました。

連絡先→TEL〇七四三六・二・〇九九〇

福島県・郡山開成ライオンズクラブ

バス広告で駐車スペースを確保

郡山開成ライオンズクラブ（二瓶克雄会長／47人）は十二月二日から、障害者専用駐車場が確保されることを呼び掛ける広告が付いた福島交通バスの運行を開始した。地域に根差した「フロンティア運動」としての新事業で、一年間運行される。

バスの両側面に掲げられたワイド広告は、縦一メートル二十センチ、横四メートル六十センチ。障害者マークが大きく描かれ、「ＳＴＯＰ！　とめないで――自分にハンディがないのなら、このマークに駐車をしない！　それだけでいいのです」とのキャッチフレーズが添えられた。

一日には、福島交通郡山支社バスプール内で二瓶会長や蔭山健一幹事ら会員十人が出席して出発式を行った。同クラブでは広告付きバスのほか、ポスター千枚、シール三万枚を作製して啓蒙活動に当たる。

（『福島民報』12月14日）

（編）車いすのマークの駐車場は幅が広く、施設の入口の最寄りに設置されています。他の車との接触を避け、雨や雪などの悪天候を考慮したものです。該当外の車が駐車され、障害者が利用出来ないようなことがあってはなりません。

連絡先→TEL〇二四・九三三・六二七〇

愛知県・半田ライオンズクラブ

半田ライオンズクラブ書道同好会

半田ライオンズクラブ書道同好会は、昨年十一月三、四日に第二十九回目の作品展を半田信用金庫本店会場にて開催しました。

一九六九年に発足した書道同好会ですが、七四年に同じ会場で第一回の作品展が行われ、メンバーであり我々の指導者であった伊藤武男（竹翁）先生の作品を中心に展示しました。第二回からは同好会のメンバーも二、三点ずつ出品を義務付けられ、初めて筆を持つ者も勇気を振って出品し続けています。

今回は会場に茶席を設置したり、床の軸などの道具に気を配ったこともあって、来場者にはずい分と楽しんで頂けたようです。その結果、半田地区における書道家たちが啓発されて、続々と展示会が開かれるようになり、書道の進展のために大いに役立ったと思っています。

知多半島を中心に多くの文化人が輩出されていますが、意外に知られておらず、書を中心に古人の作品を展示し紹介にも努めてきました。

同好会のメンバーの作品については、「書は個性の発露也」と勝手な解釈を付けて二十人が楽しく書いた作品が展示されています。

（同好会会員・クラブ会長／矢田充弘）

（編）作品展は今年で節目の三十周年を迎えます。現在、記念書道展の開催に向け、着々と準備が進められているようです。

連絡先↓TEL〇五六九・二一・四四三九

熊本県・人吉ライオンズクラブ

マレーシアからYE生来日

ライオンズクラブの青少年交換（YE）事業で、マレーシアの高校生が昨年末から人吉ライオンズクラブ（赤池賢一会長／51人）の会員宅に滞在し、国際交流を行っている。ホームステイしているのは、ホーム・ファ・シュンさんで、マレーシアの首都クアラルンプール近くのスランゴル在住の高校二年生。十二月中旬に五人で来日し、沖縄県に二週間滞在後、二十九日、人吉市に到着した。

その夜、市内の飲食店で開かれた歓迎会には、ホームさんと赤池会長、会員と家族ら約十人が出席。会員が英語を交えながら自己紹介すると、ホームさんも「私は十七歳の高校生です。よろしくお願いします」と流ちょうな日本語であいさつした。

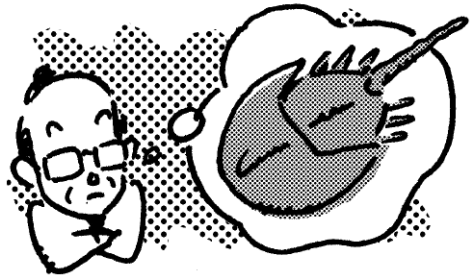
ホームさんは、会員らの質問に「日本と人吉はたいへん美しい。文化に接しながら剣道などのスポーツにも挑戦してみたいです」などと、ホームステイの抱負を述べていた。

ホームさんは、念願だった剣道の越年稽古と初稽古、えびの市でのアイススケートなどで日本の年末年始を満喫。また八日には、「将来は医学の道を目指している」というホームさんを、メンバーのライオン岐部明廣が院長を務める外山胃腸病院への医療視察に招待。夜は同クラブの新春ファミリー例会に招かれ、交流した。

（『日刊人吉新聞』1月9日）

（編）滞在中、人吉のお正月を存分に満喫したホームさんは、十日に帰路に着きました。

連絡先↓TEL〇九六六・二二・七三〇〇

佐賀県・伊万里ライオンズクラブ
カブトガニの記念碑建立

伊万里ライオンズクラブ（91人）では、二〇〇二年度の337・C地区伊万里キャビネット事務局開設とクラブ三十五周年を記念し、新装した伊万里駅前広場の一画にカブトガニの記念碑を設立、除幕式が執り行われました。式には、伊万里市長を始め伊万里高等学校校長、「伊万里市カブトガニを守る会」の原田会長、堤春夫前地区ガバナー、伊万里ライオンズクラブの桑原壮会長など、多数の来賓にご出席賜りました。

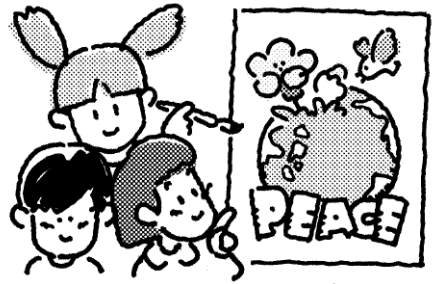
伊万里湾はカブトガニの産卵地として全国的にも有名。伊万里高等学校の生物部とライオンズクラブは合同で、保護と研究を三十年にわたって続けてきました。以下は「守る会」の長年のドン、ライオン田中興人のメッセージです。

「カブトガニはライオンズクラブを中心とする伊万里の環境浄化運動のシンボルとして市民の皆さんに親しまれています。しかしながら、残念なことに、四億年を生き抜いてきたこのカブトガニを守るため、多くの団体・人々によりなされてきた地道で長い努力があっても、決して安心出来る現状ではありません。十年前には約八百番（つがい）の産卵をみた伊万里湾のカブトガニは現在百番程度に減少し、近い将来絶滅の危機すら予想されます。一度衰退しかかれば回復は難しく、面から点となり、点が更に縮小していくというのが、全世界の野生動植物の生態系における一つの定型です。この記念碑は、多くの仲間の努力が空しく、あるいは絶滅に対する抵抗の記念碑になるかもしれません。そうであってもいたずらに悲観することなく、わずかな可能性を信じて、これからも伊万里市及び伊万里市民各位と共に、カブトガニの繁栄を祈り努力を続けていきたいと思います」

（前地区キャビネット幹事／徳永政敬）

（編）ライオンズクラブと協力してカブトガニの研究を重ねてきた伊万里高等学校生物部は、一九九八年、部員がレオクラブ会員になり、活動の輪を更に大きく広げています。

連絡先→TEL〇九五五・二三・四七五三

山口県・下関ノース・ライオンズクラブ

平和ポスター・コンテスト参加作品展

下関ノース・ライオンズクラブ（高羽雄三会長／38人）は一月十六日から二十六日まで、市内のショッピングセンター内で、ライオンズクラブ国際協会の平和ポスター・コンテスト参加作品展示会を開催した。展示されたのは二〇〇三・〇四年度コンテスト「明るい明日を築こう」に応募した、市内の中学一年生、小学六年生の個性あふれる三十二枚の作品。

子どもたちの描く平和は、その彩りの明るさに象徴され、世界がそうした豊かな明るさで存在してほしいという願いが十分に汲み取れるもので、とても意義深く、この平和ポスターの趣旨が生きる展示であったことを、とても嬉しく思った。花や鳥そして友人としての子どもたちなど、身近な題材で描いた平和ポスターは、構図に地球的な広がりが見られ、それ自体がインターナショナルなものであったと思う。

今年度で二度目だが、こうした活動が広がっていくことは将来的にも重要だと思う。準備、設営にたくさんのライオンズ・メンバーの参加、協力を頂いたことも今年の大きな成果だった。

（市民教育環境保全委員長／藤田典子）

（編）平和ポスター・コンテストは、十一歳から十三歳の子どもが平和について独創的に表現する国際的コンテスト。現在国際協会では、二〇〇四年度「平和な世界はつくれる！」への参加作品を募集しています。

連絡先→TEL〇八三二・三二・七七九九

広島ワイズ・ライオンズクラブ

骨髄バンク支援コンサート

広島ワイズ・ライオンズクラブ（岡田洪会長／33人）は、骨髄移植とそのためのドナー登録制度の必要性を知らしめるため、一九九九年から若者を対象とした支援活動を続けてきました。ところが昨今の厳しい社会状況の折、我がクラブも会員が減少。限られた予算の中で、より効果的に貢献出来る方法を模索し、十一月十二日、クラブ初の骨髄バンク支援コンサート「HIROSHIMA　音楽祭2003」の開催に至りました。

当日、開演前に骨髄移植・骨髄バンクのパンフレット配布と共に、ドナー参加についての説明を行いました。この事業に賛同して参加して頂いた地元の若手ミュージシャンがドナー登録について触れると、会場から「登録したよ～」と声が上がりました。また、ミュージシャンに骨髄移植をテーマとしたオリジナルの歌や楽曲を演奏して頂き、最後に参加者と来場者全員による合唱で、三時間に及ぶコンサートは感動のうち閉会することが出来ました。

当日の入場者数はクラブ会員を除き、二十代の若者を中心に二百五十三人。またドナー登録には、当日会場に設置した受付に七人、後日血液センターへ二人、計九人の申し込みを頂きました。

クラブ初の試みということで今後改善の余地はありますが、不安を抱きながらも大きな成果を上げることが出来、逆境を超えてこれからの活動の幅を広げることが出来たと、手ごたえを感じています。

（副幹事／北村彰朗）

（編）来場者の善意である三十六万二千百五十六円もの収益は、全額「NPOひろしま骨髄バンク」に寄贈されました。詳細はクラブのホームページ（www2.ocn.ne.jp/˜c-7r-1z/wise/）でもご覧になれます。

連絡先→TEL〇八二・二四八・〇一四四

平和の滝（北海道札幌市）

支笏湖（北海道千歳市）

小清水原生花園（北海道小清水町）

大沼公園・駒ケ岳（北海道七飯町）

二十間道路（北海道静内町）

ROAR ローア

会員の遊び心が地域の教育力の拡大につながった、和楽器教育支援アクティビティ。

北海道・旭川ライオンズクラブ

■構成／本誌編集部

二〇〇二年度から実施された新学習指導要領で、中学校の音楽教育で和楽器指導が必須になった。洋楽で教育された音楽教師の間には、大きな戸惑いが広がっている。旭川ライオンズクラブ（青山義松会長／57人）はこの混乱をいち早く予想し、二〇〇〇年から年次計画を立てて四十張の三味線を購入、市教育委員会に寄贈し、保管と保守をクラブのアクティビティとして引き受けた。更に教師の研修や実践授業の支援を地域の三味線指導者と共同ボランティアで行い、和楽器を用いた「日本の心の教育」に貢献している。

二〇〇三年十月九日、旭川市立神楽中学校を会場に、全国から千百人の教育関係者が参加して「平成十五年度全日本音楽教育研究会全国大会」が開催された。その研究授業で、市立東明中学校の生徒三十七人は真剣な面持ちで三味線のバチを操っていた。「勧進帳」の一節を合奏し終えると、集まった音楽教師たちの間から、大きなどよめきが起こった。

十年ぶりの全面改訂となった新学習指導要領は、〇二年四月から実施され、学校週五日制や、自ら学び考える力を育成する「総合的な学習の時間」が導入された。中学校の音楽の指導要領では、「器楽指導については、指導上の必要に応じて弦楽器、管楽器、打楽器、鍵盤楽器、電子楽器及び世界の諸民族の楽器を適宜用いること。また、和楽器については、三学年間を通じて一種類以上の楽器を用いること」が、具体的に示されている。

これまで我が国の音楽教員養成では、音楽＝西洋音楽（クラシック）と考えられてきた。洋楽で教育された音楽教師たちが、この方針に戸惑いを覚えるのも無理はない。指導者も楽器の数も不足する中、邦楽のCD鑑賞や、他校と楽器を融通し合うなどしながら、授業を行う学校が多いという。

しかし旭川では、ライオンズの支援によって和楽器指導の授業をスムーズに導入することに成功している。研究授業での息のあった合奏は、東明中学校で音楽を担当する児玉かおり教諭と「柏奈美会」に所属する三味線師匠四人、そして旭川ライオンズクラブの協力と連携によって得られた成果である。

そもそも旭川ライオンズクラブが三味線とかかわりを持ったのは、年末恒例の家族会がきっかけだった。話は二〇〇〇年にさかのぼる。十二月の「家族と共に楽しむ会」では、会員がアトラクションを披露することが常となっている。この年の演目は「勧進帳」と提案があった。しかし衣装や小道具は借り物で何とかなるが、三味線十数張を借り揃えるのは難しい。購入するには高すぎるし、終わってから無駄になる。その時、教育関係者の会員から学習指導要領改訂の話が出された。間もなく中学校の音楽の授業で和楽器が必要になるが、予算は計上されないという。アトラクションとアクティビティが結びついた。

この年の家族会は「勧進帳」の名演で、盛会のうちに終わった。三味線は毎年十張ずつ買い足し、一クラスの指導に

必要な四十張まで増やすことになった。更に、旭川市音楽教育研究会とタイアップし、「柏奈美会」に依頼して数回にわたる教師研修会を開催。毎回、二十数人の参加者が集まった。希望する教師の中学校には出かけて行き、音楽の時間に生徒指導も行って、三味線に対する生徒の興味を引き出していった。会員たちは楽器の搬送や会場の設営、三味線の調整、経費の負担など、労力と金銭の両面で支援を行った。やがて、有料で指導をお願いしていた三味線のお師匠さんたちから、ボランティアの申し入れがあった。旭川ライオンズクラブの活動が、地域の教育力を引き出した瞬間である。

音楽教師の三味線研修会。和楽器と無縁だった教師たちの戸惑いは大きかった

　二〇〇二年二月、四十張になった三味線は、クラブ結成四十五周年記念事業として市教育委員会に寄贈された。

　冒頭の全国大会では、研究授業が終わった後に研究討議が持たれた。参加した教員の一人からは、「四十張の三味線が揃っていることに驚いた。ライオンズクラブの寄贈と聞いたが、その経緯を教えてほしい。また、ゲスト・ティーチャーの謝礼はどうなっているのか」という質問が出た。出席していた上田敏三教育奉仕委員長から、同クラブの和楽器教育支援への取り組みが説明され、参加者の関心を集めた。

　この日の生徒の感想文。

「十月九日、快晴。こんな日に演奏する三味線は、また格別である。練習の成果は確実に出ていた。周りから聞こえる先生方のどよめき、みんなの演奏は見事にビシッと決まっていた。感動だ。一人ひとりに一張ずつという本当にありがたい練習。貴重な経験が出来たと思う。これは一生忘れない思い出になる。きっと。
東明中学校三年　伊羅子景淳」

　現在では、旭川市以外の地域からも指導支援の申し込みが数多く寄せられている。旭川ライオンズクラブには、いつの日か自らが生徒たちに指導出来る日を夢見て、三味線の特訓に励んでいる会員もいるという。

　会員の遊び心に端を発したアクティビティは、結果的に地域の教育力を引き出すことにもつながった。地域の要請を感知する敏感なアンテナがあれば、アクティビティの可能性は無限にある。

未来を託す子どもたちに、海外体験を通じて心の成長を。日韓のライオンズが手を結んだ交流事業。

岡崎政司（331-A地区日韓親善交流特別委員長／北海道・札幌時計台クラブ）
■取材／編集部

これからの北海道、そして日本を背負っていく子どもたちに、自立心と挑戦する心を養ってもらおう。331-A地区（杉本忠夫地区ガバナー）の日韓親善交流事業は三年前に始まった。地区内全クラブによる合同事業で、韓国の354-C地区（ソウル）と提携し、小学五、六年生の児童を相互に派遣、ホームステイをしながら互いの文化を体験させる。事業の開始当初から中心になって企画に携わる岡崎委員長に聞いた。

――日韓親善交流事業がスタートした二〇〇二年はワールドカップ日韓共催の年。何か関連はあったのでしょうか。

「地区を挙げて能動的な青少年育成プログラムを立ち上げようと、二〇〇一年四月から準備を始めました。初めから派遣先を韓国と決めていたわけではありませんが、親子の断絶が言われ、礼儀を知らない子どもたちが多い中、儒教の国韓国で学ぶものは多いと考えました。また二〇〇二年は日韓文化交流年ということで、行政の協力を得やすいという期待もあった。実際、第一回の派遣では北海道と札幌市から補助金を受けました。当初は派遣だけの企画で、韓国の354-C地区にライオンズの家庭でのホームステイ受け入れをお願いしましたが、韓国側もこの事業に賛同し、相互に派遣、受け入れをすることに決まったのです」

――事業の概要について教えてください。

「派遣対象は小学五、六年生です。今年は日本からの派遣生が各クラブ一人、総勢七十五人。派遣は三月三十一日から、受け入れは四月二十一日から、それぞれ四泊五日の日程で、うち二泊はホームステイです。日中は全体行動で、地元小学生との交流や体験学習を行います。第一回では、信頼性を第一に考えてライオンズ会員にホスト家庭をお願いしましたが、今回からは応募条件にホームステイ受け入れを加え、双方の派遣生をカップリングすることにしました。お互いの家庭にホームステイすることで子どもたちに友情を育んでほしい。第二回でも何組かカップリングしましたが、その後もEメールなどで交流しているようです。この子どもたちが二十年後、両国の経済交流、文化交流を担ってくれるのではと期待がふくらみます」

――海外派遣、しかもホームステイとなると、もう少し年長の方が安心な気がしますが。

「確かに中学生の方がよいという意見はありました。しかし予断のない素直な心で韓国の人や文化に接するには小学五、六年生ぐらいがいいと考えました。まだ親元を離れた経験が少ないですから、子どもたちには慣れない環境で一度泣いて、それを乗り越えてほしい。そのためにもホームステイは一家庭に一人、しかも連泊にしています。一泊では慣れるだけで終わってしまう。『ただいま』と帰るのがいいですね。確かに不安な点はありますから準備は慎重です。事前に健康診断書を提出してもらい、派遣時は看護師を帯同します。健康面だけでなく、派遣一カ月前には事前合宿を行い、韓国の言葉や習慣も学びます。韓国語については、冬休み中に勉強出来るようにオリジナルの教本とビデオを配布し、合宿でおさらいをする。韓国側でも日本語教本を作り、食事の作法なども学んでから派遣してくれます。派遣時にはゾーン・チェアパーソン（ZC）が代表して、ゾーン内クラブの派遣生の親代わりとなります。第一回のことですが、ホームステイ初日の夜に荷物をまとめて家の外で泣き出した子がいま

した。私も電話で説得したんですが、泣きやまない。ところが、事前合宿から面倒を見ているZCが『早く家に入って寝ろ』と言ったら、すぐ言う通りにした。驚きましたね」

――派遣生はどのように選考するのでしょう。

「作文による選考です。各教育委員会の協力で地区内四百の小学校に応募を呼び掛けます。キャビネットに集まった応募作文を地元クラブに配布し、各クラブが独自に選考して派遣生を決定します。派遣生の選考はもちろん、募集時の学校への呼び掛けなど、各クラブが主体的に活動するようにしています。ホームステイ受け入れ時には、ゾーンごとに地元小学校との交流や体験学習を行います」

派遣生を選考する作文のテーマは、韓国及びボランティアについて。参加費用は1人25,000円

――体験学習ではどんなことを行うのですか。

「韓国の子どもたちには、田植えやサケの稚魚放流などを体験してもらっています。畳の部屋に泊めてほしいという要望もありました。韓国でも子どものしつけに悩んでいるようですね。日本の子どもたちの体験学習にはキムチ作りやテコンドーがあります。またソウルの障害者施設を慰問する奉仕体験や、日本では経験出来ない国境線の見学も行います」

――このような地区の合同事業のメリットは？

「キャビネットが事業を行うのはおかしいと批判もありましたが、あくまで単一クラブの事業を合同で行うものと考えています。合同で行うことによってより規模の大きな事業が可能になるし、社会に対するインパクトも大きくなります」

――ライオンズクラブのPRにもなる、と。

「この事業にはライオンズの活動を広く地域社会に認知してもらおうという意図もあります。特に第一回では、北海道新聞の協賛で派遣生がちびっ子記者として取材を行い、そのリポートが帰国後に見開き記事で掲載されました。子どもたちはZCをリーダーに十三の取材チームに分かれて、サッカーや音楽など十三のジャンルについて取材したんです。派遣生募集の告知など数回の報道があり、PRが出来ました」

――参加した子どもたちにはどんな変化がありますか。

「初めはホームシックにかかっても、最後は別れを惜しんで涙を流す子もいます。言葉が通じないのがもどかしくて、帰ったらもっと勉強したいという子が多いですね。子どもだけではなくて、韓国から同行してきた小学校の先生は、日本に対する認識が変わったと話していました。今まで教室で教えてきた日本とは違う、と。青少年健全育成の枠を超えた交流事業になりつつあると感じています」

小規模校の子どもたちと郷土探訪交歓会

北海道・和寒

和寒町は北海道の中央よりやや北寄りにある、四季折々に美しい豊かな自然に恵まれた町。人口四千五百人ほどのこの町にある和寒ライオンズクラブは、町内にある小規模小学校の児童同士の交流と、次代を継ぐ子どもたちの郷土愛の心を育むことを目的に、「小規模校郷土探訪交歓会」を実施している。

二〇〇三年九月に訪れたのは、樹齢千年にもなるミズナラの巨木、水田発祥の地、農産物研究施設「農想塾」や生ゴミ処理場ほか数カ所。子どもたちは急な坂道を上ったり、ウルシにかぶれたりもし、最後にはジンギスカンや農想塾から頂いたメロンやスイカをみんなで楽しく食べた。

自然の素晴らしさを知り、環境問題にも興味を持ってもらいたいというメンバーの思いをしっかりと受け止めた子どもたちからは「和寒の人の思いに感動しました。あの巨木を大切に管理しているということ。／でも和寒の人たちが出すゴミの多さにもビックリ!」「処理場の中の匂いが臭くて鼻をつまんでしまいました。（生ゴミを処理した）土に手を入れたらあったかくて気持ちよかったです」といった感想が寄せられた。

今回参加した三和小学校は、二〇〇四年三月に閉校となることが決まっていたが、楽しい思い出が出来たことも子どもたちは喜んでいた。

情報／塚崎正（会長）

北海道初の女性クラブは、日本初の女性シニアクラブ

北海道・札幌コスミックシニア

昨年十一月に結成された札幌コスミックシニア・ライオンズクラブ（田原ひさ江会長／23人）が、三月九日にチャーター・ナイトを迎えた。スポンサーはサッポロシニア・ライオンズクラブで、シニアクラブによるエクステンションも、女性だけのシニアクラブ誕生も全国では初めてのことだ。田原会長の亡夫は札幌ライオンズクラブのチャーター・メンバーで、ほかにサッポロシニア・ライオンズクラブ会員の夫人が四人いるものの、ライオンズとは無縁だったメンバーがほとんど。用語や会則など勉強しながら、奉仕に意欲を燃やしている。そのパワーは、スポンサー・クラブの面々も舌を巻くほどだ。

既に、市民のオアシスである中島公園の清掃奉仕を行っているほか、家庭環境に恵まれない子どもたちが生活する

Close up クローズアップ

盲導犬育成に尽力する元パラリンピック選手

野呂幸司（北海道・札幌大通）

一九八四年、オーストリア・インスブルックで開かれた第三回パラリンピック冬季大会に、ライオン野呂幸司は日本選手団中、最年長の四十九歳で出場。回転六位、滑降五位入賞の成績を収めた。

大学四年生の時、山岳部十一人で冬山合宿中に遭難。仲間十人を失った。一人生還したライオン野呂は、凍傷のため両足首から先を切断した。翌年の冬には、歩行もおぼつかないながらスキー場に通い、義足を血だらけにしながら練習を続けた。スキーが、社会復帰への一つの壁だと考えた。七十歳の今も、スキーの腕前には自社の若い社員も及ばない。

インスブルック大会では、海外の障害者の姿に驚いた。明るく、堂々としている。日本では障害を隠すのが当たり前だった。もう一つ、ライオン野呂が衝撃を受けたのが、視覚障害者の競技。目の見えない選手が猛烈なスピードで滑降する姿に涙が出たという。

現在、建築設計・企画の会社を経営するライオン野呂は、昨年で十五回目を数えた盲導犬育成チャリティー・イベントを主催する。所属する札幌大通ライオンズクラブも、八年前からハンディキャップスキー大会を継続。心のバリアをなくし、ハンディを負った人々と共に生きるノーマライゼーションの実現に尽くしている。

取材／編集部

「札幌育児園」の支援事業にも取り組む。ぬくもりを必要とする子どもたちのために、動物園見学や園の秋祭りへの参加などで心の交流を深めていく計画だ。
　現在は三十人を目指して、会員増強にも力を入れている。入会金なし、会費は月五千円と主婦でも参加出来るように負担を軽くしている。
「まずは待ち遠しくなるような例会を」と田原会長。例会場はすすきのに近い狸小路にあるサッポロビール「ライオン」。田原会長は「札幌・女性ビールの会」の会長でもあり、メンバーの多くがビール党。例会の後には、ジョッキを片手に楽しい一時を過ごす。札幌コスミックシニア・ライオンズクラブの例会は第二、第四火曜日の午後六時から。札幌を訪れた際には、ぜひ訪問をされてみてはいかがだろう。

取材／編集部

Close up クローズアップ

ふるさと寿都の寒風で育むこだわり新巻鮭

吉野寿彦（北海道・寿都）

　日本海に面する寿都は「風の街」。冬は海から北西の冷たい季節風が、夏には陸から海に向かう「だし風」が吹きつける。ときに農作物や漁業に被害を及ぼす強風を逆手に取り、自治体としては全国で初めて、十五年ほど前から風力発電に取り組んでいる。
「生まれ育った寿都の風を生かしたい」。ライオン吉野のふるさとへのこだわりから生まれたのが、伝統製法によるやぐら干しの新巻鮭。寿都の一字をとって「寒風やぐら干し鮭寿（けいじゅ）」と名付けた。秋、寿都の前浜に揚がった脂の乗った鮭にしっかり粗塩をほどこして寝かせ、十二月から二月の厳寒期にやぐらに干す。海沿いに組んだ三階建てのやぐらには、電柱の廃材を利用した。荒縄で吊るした鮭は、冷たい浜風にさらされて熟成。しわがれた皮の内側で、鮭の旨味と独特の香りが引き出されていく。塩漬けを冷凍するという一般的な新巻鮭と、ひと味もふた味も違うのは当然だろう。切り身だけでなく、かまは鍋や汁物に、皮とヒレは焦げ目をつけてお茶漬けにと、まるごとおいしい。
　海辺に建つやぐらの様子はマルトシ吉野商店（TEL：〇一三六・六四・五〇一八）のホームページ（http://www6.ocn.ne.jp/suttu229/_page/top.html）で見られる。
■ライオン吉野から読者プレゼントがあります（64ページ）。

情報／寿都ライオンズクラブ

スノーバンディで寒さを吹き飛ばせ！

北海道・旭川東

　二月二十二日、第十九回旭川市小学校スノーバンディ競技大会が旭川東ライオンズクラブと旭川市小学校スノーバンディ普及協会の共催で行われた。
　スノーバンディは旭川生まれの、アイスホッケーに似た雪上スポーツ。二十年ほど前、旭川北方圏懇話会のメンバーが冬のフィンランドを視察した際、子供たちが凍結した湖上で行っていたゲームに興味を覚え、用具の木製スティックとプラスティックボールを市に持ち帰った。その後、市教育委員会が市内各小学校に用具を配布。冬の戸外での体育授業で取り入れられ、ルールなどが整備されていった。ゲームは六人一チームで行われ、前後半それぞれ七分間に相手ゴールに多く点を入れた方が勝ち。旭川東ライオンズクラブでは当初からこのスノーバンディの普及に力を入れ、競技大会を催してきた。
　今大会は市内の富沢多目的運動公園グラウンドを会場に、十五小学校から三十九チームが参加。六年男子、四、五年男子、四、五、六年女子の三ブロックで優勝を争った。選手、審判、応援の保護者を含めると参加者総数八百五十八人。旭川東ライオンズクラブからは一位から三位チームへ賞状と盾が贈呈されたほか、各チームへ参加賞としてスティック計百本が贈られた。また、会場では参加者全員に温かい豚汁が振る舞われた。

情報／北塔光昇（会長）

函館骨髄バンク設立と支援

北海道・函館市内クラブ

白血病、再生不良性貧血などの血液難病には骨髄移植が画期的な効果を示す。それが次第に認知され、全国各地に骨髄バンクが設立されてきた。函館骨髄バンク推進協議会（名誉会長・井上博司函館市長）が設立されたのは一九九七年十一月。これには函館市内のライオンズクラブが大きな役割を担った。

発端は宮崎保同協議会名誉顧問から当時函館市医師会会長でもあったライオン後藤曄（函館海峡ライオンズクラブ）を通じての、函館に骨髄バンクを設立することに対する支援要請だった。クラブ保健委員長を中心とした努力で設立にこぎつけた函館海峡ライオンズクラブが、当初は単独で「骨髄バンクの意義、啓発の促進／ドナー登録者の増員／骨髄バンク基盤の強化」を目標に掲げ、活動にまい進していた。

SERVICE ACTIVITIES

上川（331-B）
1月16日、特別養護老人ホーム大雪荘のお年寄りにラーメンの給食サービスを行った。

室蘭北斗（331-C）
11月19日、第25回チャリティー・ダンス・パーティーを開催。開会冒頭、工藤幸雄会長から室蘭市長に善意の益金10万円が手渡された。

静内（331-C）
10月9日、第9回チビッ子ハイキングを開催、町内の小学生190人が参加した。メンバーが先生役を務めて植物観察やきのこ探し、焼き肉などの昼食を楽しんだ。

「骨髄バンク応援の集い」も三回を数えた二〇〇〇年、活動は次段階へ進む。函館海峡ライオンズクラブの呼び掛けにより、函館市内の全ライオンズクラブの協力体制を確立したのだ。二〇〇一年、協議会は晴れて全市的な組織へと新生を遂げた。函館東ライオンズクラブのライオン藤岡敏彦が協議会理事長となった。

より大きなライオンズクラブの人脈と支援を得て、骨髄バンク啓蒙及び登録運動は躍進した。これまで骨髄移植には札幌の病院への入院を余儀なくされていた函館、道南の患者及び骨髄提供者だが、今年からは市立函館病院で受けられるようになった。大規模なイベントも開催出来るようになり、来る五月二十九日には全国大会を招致、「全国骨髄バンクボランティアの集いin函館」が開かれる。

情報／藤岡敏彦（函館東／函館骨髄バンク推進協議会理事長）

■「全国骨髄バンクボランティアの集い」のお知らせがあります（56ページ）

上磯（331-C）
12月23日、サンタのおじさんとおばさんが養護学校おしま学園の寮8カ所を回り、園生それぞれの希望のプレゼントを手渡した。サンタさんにお願いしていたプレゼントをもらって子どもたちは大喜び。

津別（331-B）
7月23日、北見保健所、美幌警察署、町保健福祉課の指導の下、津別町内2カ所で野生大麻3万本を駆除。大麻を初めて見る会員もいて、大量の現物にビックリ。

芦別（331-A）
2年前にクラブ認証40周年記念アクティビティとして植樹した山桜、ミズナラなどがライチョウによる被害か芽吹かず、10月8日、秋晴れの下、記念樹の補修と山桜など約20本の補植を行った。

SERVICE ACTIVITIES

ふるさと探訪

北海道　鹿追

十勝平野の酪農王国が発信する豊かな田園ライフへの誘い

■取材／編集部

氷点下三十度の世界

「今日は、二十七度でしたよ。がんばってください」

明日は然別湖の日の出を撮るつもりだと言うと、然別湖コタンの菅原末治村長は、そう言ってカラカラと笑った。

二十七度って……。真冬の北海道である。当然、アタマにマイナスが付くのだ。冷凍庫の平均温度が氷点下十八度である。う〜ん、冷凍庫の中より寒いじゃないか。

然別湖は北海道の屋根と言われる大雪山麓の南端、標高は八百メートル、道内で最も高所にある。冬の凍結が道内最初なら、春の解氷も最も遅い。寒波がやってきた早朝には、この日のように最低気温がマイナス三十度近くまで下がる。

雪と氷に閉ざされた氷点下三十度の厳寒の地。普通なら、気温と同様マイナス・イメージがつきまとう。が、鹿追は違う。逆にこの寒さと氷をウリにしたイベントを開催し、多くの観光客を集めている。

それが、菅原さんが村長を務める然別湖コタン（コタンはアイヌ語で村の意味）だ。今年で二十三年目を迎え、氷上露天風呂やアイスバーなどが建設される。これらの設営には湖上建設隊というボランティアが、全国から駆けつける。ピーク時には六十人もの人が湖上で作業をしているというのだから、コタンづくりそのものが、既に立派なイベントとなっているようだ。

さて日の出だが、折悪しく山の頂から出てきてしまったため、氷点下二十度の中で二時間も待つはめになった。その間、観光客が数人、露天風呂に入りに来た。その時は、「チャレンジャーだなあ」と内心あきれていたものの、こんな機会はめったにあるもんじゃない。やはり入っておけばよかったと、悔やんでいるところである。

日本一の酪農王国

然別湖のある鹿追町（町長：吉田弘志）は十勝平野の北西端。農業王国と言われる十勝平野の中でも、大規模経営の農業が営まれている。畑作は豆類、小麦、馬鈴薯、野菜等を栽培し、一戸当たりの経営面積は約三十七ヘクタール、酪農は平均百頭以上の牛を飼育。農業経営者一戸当たりの農業粗生産額は約三千七百万円、専業酪農家に限ると約五千八百万円と、日本の農業の中ではトップクラスだ。

こうした大規模経営を支えるものに、JAによる作業受委託（コントラ）事業と、酪農ヘルパーの存在がある。これにより、人材確保や機材の調達等、非常に効率よく経営

❶然別湖畔温泉ホテル風水からお湯を引いてつくった氷上露天風呂。脱衣所も氷なので、どう考えても寒いのだが、氷点下二十度の中、観光客が大喜びで入浴している
❷こちらも人気のアイスバー。外観から内装まですべて氷造だ
❸然別湖畔にはホテル風水（支配人平野敬三／TEL〇一五六六・七・二二一一／WEB：www.tokeidai.co.jp/spafusui/：写真右）とホテル福原の二軒の温泉ホテルが建っている
●然別湖コタンは三月三十一日まで（気象条件によって変動あり）。なお、帯広空港や帯広駅から北海道拓殖バスに乗り、然別湖で下車するとバス代が無料になるそうだ

1）

2

3

6

4

5

❶鹿追産生乳は出荷量日本一、しかも乳質が高いことで知られる
❷鹿追の農事組合法人第一号、東瓜幕協和生産組合を立ち上げたライオン清水據鄰と❸ライオン清水の長男智久さんが最近開発したヨーグルト。濃厚さとレアチーズ・ケーキのようなほのかな甘さで大評判（TEL〇一五六六・七・二四二八）
❹大草原の小さな家（ライオン中野一成／TEL〇一五六六・六・二二〇〇）
❺カントリーパパ（ライオン山岸明／TEL〇一五六六・六・二八八八）
❻カントリーファーマーズ藤田牧場（TEL〇一五六六・七・二三二六）

が行われ、酪農王国と称される地位を築いたのである。

そんな中、鹿追では「田園ライフ」というキーワードで、地域づくり、農と食などを考えるツーリズムという動きが起こり、注目を集めている。その中心が、ライオン中野一成だ。

鹿追町では十数年前、欧米の農業や農場視察のため町の農業家を派遣していた。カナダに派遣されたライオン中野は帰国後、自力でログハウスを建て、牧場レストランを始めた。更に宿泊用のコテージも建設、ファームインに乗り出した。

ファームインとは都市と農村の結び付きを深めるため、農家や酪農家が始めたもの。イギリスやドイツ、フランスでは、都会から離れてゆったり休暇を過ごす場所として、生活の中に根付いている。

ライオン中野の動きは周囲にも刺激を与え、成功例が次の成功を呼んで、仲間の輪が広がった。一九八九年には鹿追町ファームイン研究会が発足。や

イラストマップ／小川和政

がて同研究会の武田耕次さんのアイデアもあり、九一年からは国道沿いに六㌔のフラワーロードをつくるなど、活動は地域づくりへと広がった。

　フラワーロードづくりはその後、二〇〇〇年に町が環境美化宣言をし、これに基づいて「花と芝生の町づくり」を推進することになり、文字通り満開の花を咲かせた。今では毎年六月一日から九月三十日までを「町の飾花期間」に指定し、公共施設はもとより商店や個人の住宅までが、美しい花で飾られる。まさに町ぐるみの運動で、この時期を目指して訪れる観光客も年々増加しているという。

　〇一年には若い農業者の育成を目的にライオン中野が学長、武田さんが事務局長となり北海道ツーリズム大学を設立。現在、全国から年間百五十人が入学し、研修を積んでいる。

　また最近はネイチャーセンターやライディングパークといったグループともネットワークを組み、農村ホリデー推進協議会を設立。鹿追の元気は更に勢いを増しそうだ。

元気な町のライオンズ

　鹿追ライオンズクラブ（31人）は一九六六年、帯広中央ライオンズクラブのスポンサーで結成された。町の要職にある会員が多く、地域づくりに積極的に貢献している。特に、大雪山国立公園内という美しい自然を守ろうと、環境保全を中心に、熱心に活動を展開。また、香川県・多度津ライオンズクラブと姉妹提携を結び、相互交流を実施している。（鈴）

■鹿追ライオンズクラブから読者プレゼントがあります（64ページ）。

❶大雪山麓の町鹿追は豊かな自然に恵まれ、美しい風景が展開する
❷鹿追やまべ園（ライオン畑久雄／TEL〇一五六六・七・二〇一四）では自分が釣ったヤマメやオショロコマ、しかりべつサーモン（写真）などを刺身や塩焼にして食べさせてくれる
❸鹿追そばは日本一高値で取り引きされる（西上経営組合：TEL〇一五六六・六・三一九七）
❹飾花に参加したライオン森住松夫宅
❺神田日勝記念館。鹿追町で開拓営農のかたわら、独特のリアリズムで作品を描き続けた夭逝の画家神田日勝の美術館

祭のある風景

「姥神大神宮祭」北海道江差町

交易に栄えた蝦夷地の繚乱の春伝えて
江戸にもない江差のにぎわい偲ばせる絢爛の祭り

■文：篠崎淳之介／切画：風祭竜二

「春告魚」とも書くニシン漁が、江差から去って久しい。その昔、十五世紀半ばごろ、この地にいた一人の老女が、住んでいた地に祭っていた鴎島の神様から小瓶をもらい、それを使って、神様から教えられたようにすると、ニシンの大群が押し寄せて来たという。

人々は老女の祭っていた神様の像を漁業の神として崇め、「姥が神」と名付けた。それが今の姥神大神宮の起源だと言われている。その後、十八世紀後半、徳川十代将軍徳川家治の時代に今の地に老女と、「姥が神」が共に祭られ、「ニシン漁業の祖神」とされた。

ニシンがこの地の重要な産業資源となったのは、木綿と関係があった。江戸時代、十七世紀末には、農民の衣料は麻か木綿と定められ、綿の産地が広がった。ニシンは窒素、リン酸の豊富な最高の肥料であった。ニシンの豊穣の地江差は、が然、注目を集めた。

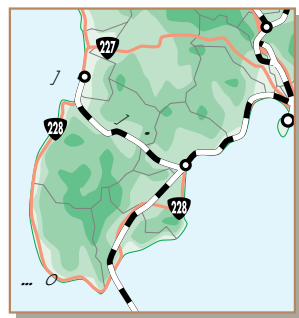
日本海海運で活躍した北前船は、春、ニシンを求めて江差に続々と入港した。ニシンは財を生む宝であった。「姥が神」は、この江戸期の経済的事情を背景にして崇拝を集めていく。江差は松前藩第一の繁栄地となり、「江差の五月は江戸にもない」と言われた。

十九世紀前半、函館は千戸程度の集落でしかなかったが、江差の戸数は二千戸を数え、一万両以上の豪商が七人もいた。姥神大神宮は、繁栄をもたらした祖神として崇拝され、すでにそのころには、八月に盛んな例祭が行われていた、という。

姥神大神宮の例祭では、神輿の渡御に町内十三台の山車が付き従う。山車は十七の町内が伝え支えてきた。この内、三台が十八世紀後半から十九世紀前半までに製作されたもので、この祭りが、古くからこの地の人々に支えられていたことを物語っている。

ニシン漁全盛期を偲ばせる旧中村家住宅（重要文化財）／写真提供：江差町

祭りの日、神輿と山車は初日に下町を廻り、二日目に上町を廻る。初日、山車は「エンヤマカショ」の掛け声と共に一台、一台と姥神神社に集まる。午後一時、十三台の山車を従えて三基の神輿が出発する。日本神話さながらに、先頭を猿田彦が行く。一行は夕方一休みし、夜八時、勢ぞろいした山車がライトアップされ、祭り囃子の競演となる。囃子は京都祇園囃子の系統を引き、神楽や木遣りの曲調も取り込んで、江差の歴史の深さを偲ばせる。

一方、神社では、若者が大きなタイマツを掲げて、囃子の競演の中を戻って来た神輿を迎え、神輿は行きつ戻りつしながら神殿に帰る。

二日目の巡行の終幕近く、祭りは最大の見せ場を用意する。午後九時ごろ、繁華街にライトアップされた山車が集まって来る。集結した山車の一台、一台が紹介され、囃子が高鳴り太鼓は乱れ打ちとなる。見物衆もまた舞い、飛び跳ね、町は祭りの渦に酔いしれ、「江戸にもない」と言われた昔を思わせる。その後、一転して囃子は荘重な音頭に変わり、祭りの終幕を告げる。祭りの日、人口一万人の江差の町は六万の人でふくれあがる。

ニシンは去ったが、人々は力を合わせ、見事な祭りの中で、江差のにぎわいの余韻を伝え続けてきた。二年前、祭りは北海道文化遺産に指定された。

●祭りメモ

毎年八月九～十一日。問い合わせ先：江差観光協会（TEL〇一三九五・二・四八一五）

●アクセス

函館から江差まではJR江差線で約二時間半、函館バスで約二時間。乗用車なら約一時間半の距離。

●周辺クラブ

江差町（町長／ライオン濱谷一治）には、一九六二年に函館東ライオンズクラブのスポンサーで結成された江差ライオンズクラブ（橘俊久会長／21人：TEL〇一三九五・二・〇五一五）がある。結成以来、多くのアクティビティを実施してきたが、特に青少年の健全育成と、交通安全運動に力を注いでいる。一九八一年には江差から北へ車で三十分ほどの厚沢部町に、厚沢部ライオンズクラブをエクステンション。北前船の関係で滋賀県・能登川ライオンズクラブと姉妹提携をし、青森県・弘前チェリー・ライオンズクラブとは友好提携を結び、互いに交流し、親交を深めている。（情報提供：ライオン加賀谷弘一）

■江差ライオンズクラブから読者プレゼントがあります（64ページ）。

北海道・松前
春爛漫。桜守たちに見守られ、今年も城下町がピンクに染まる

■写真と文：編集部

松前城

　松前が近づくにつれ、どんどん雨足が強くなる。「いらっしゃるころは、サトザクラがちょうど満開になりますよ」。ゴールデン・ウィーク前に電話で確認し、タイミングはベストのはずだった。それなのに、雨に降られるとは。
　松前町役場に着くころ、雨音は一段と強まった。この日は、松前ライオンズ（クラブ）の（ライオン）北川聖治が、桜咲く松前公園を案内してくださることになっていた。しかし、いくらなんでもこの天気じゃ無理だろう。そんなこちらの心境を知ってか知らずか、レイン・スーツに身を包んだ（ライオン）北川はにこやかに言った。
「じっくり回れば三時間、少なくとも一時間半はかかりますよ。どうしましょう?」
　松前は北前船の往来で賑わった最北の城下町。その松前城址が、今は松前公園となっている。公園内の桜は約二百五十種、一万本。もともとは、藩政時代に商人や京から輿入れした女性たちが運ばせたり、参勤交代の際に持ち帰ったのが始まりと言われ、光善寺の血脈桜や龍雲院の蝦夷霞桜など古木も多い。桜の名所になったのは、およそ百年前に桜の植樹を始めた町職員の鎌倉兼助さん、そして五十年前から桜の品種改良に取り組んで多くの品種を生み出した小学校教諭の浅利政俊さんという、二人の桜守がいたからこそ。その熱意は町の人々が受け継ぎ、「松前桜の会」となって広がっている。
　降りしきる雨の中、三十分も歩くとスニーカーの中は水浸しになった。寺町から歩き始め、城の上手にある桜の見本園へ。ここに全国から集められた品種や、松前生まれの新種が植えられている。色の濃淡、花びらの数や形など多種多様。「あれが松前で生まれた紅蘭、こっちは血脈桜の孫に当たる南殿……」。（ライオン）北川は次々に品種の名前やその特徴を教えてくださる。それもそのはず、ボランティアで桜の記録写真を撮影されている、ふるさとを愛してやまない現代の桜守の一人なのだ。
　夜のうちに雨は上がり、翌朝はだんだんと雲も薄くなっていった。公園の奥にあるサトザクラの並木道は、今まさに春爛漫。枝先も小道も濃いピンクに染まっていた。（河）

●観光一口メモ
　北海道で最も早く桜前線が達する松前は、例年四月下旬に開花。種類が多いので五月半ば過ぎまで一カ月近くお花見が楽しめる。五月一日から約三週間にわたりさくらまつりが開かれ、武者行列や郷土芸能も披露される。
問い合わせ先：松前観光協会
（TEL〇一三九四・二・二七二六）

●アクセス
　函館から国道二二八号線で約百（キロ）、二時間。函館からの直通バス、江差線木古内駅から路線バスも出ている。

●周辺クラブ
　松前（クラブ）（斉藤勲会長／44人：TEL〇一三九四・二・二〇七七）は一九八二年結成。メンバーには松前桜の会の会員も多く、植樹や桜の育成・管理に協力している。

獅子吼

（応募要領→三月号56ページ▼題字も募集中）

●獅子吼（ししく）①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力にたとえていう語。②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）

LCIF交付金による第千回例会記念事業

田中　實（兵庫県・明石）

第千回目の例会は、クラブ結成四十二年目に確実に巡ってくる。私が第一副会長を引き受けた時から、時の流れに掉さす小船の船頭のように、さまざまな流れの中で素早く的確にその役目を果たさねばならなかった。クラブ結成四十周年と四十五周年の狭間で、少ない予算で輝くような記念の事業をしなければならないのである。

第一副会長に就任後、LCIFの田辺憲雄資金開発課課長が、研修会のために神戸に見えた。講演の要旨は、準地区の申請制限は年間六件以内、国内事業は五〇パーセントの補助金、前年度のLCIF交付実績のうち日本は二十数件とのことであった。

講演を聞いていて、天の啓示のように閃くものを感じ、記念事業はLCIF交付事業でいこうと決意した。が、全国三千四百のクラブのうち、二十数件の交付実績ということは、オリンピックの代表選手に選ばれるほどの難関を意味する。

LCIFの審査にパスするクオリティーの高い地域密着型の奉仕事業をイメージして、多くの人の話を聞き、情報を整理していった。天啓を信じて、模索すること六カ月。遂に、視覚障害者支援福祉事業として、パソコン対応の点字プリンターの寄贈にたどり着いた。

点字の世界。それはロシアやイスラムの文字を見る思いであった。そこでまず、市内のボランティア団体として活躍している点訳グループの取材から始めた。二十人程度のボランティアが錐のような道具を持ち、手作業で一字一字を一心不乱に点刻している現場に臨んだ時、胸が詰まる思いであった。これだけの人たちが一日がかりで、ただ一人の目の不自由な人のために点刻に打ち込んでいる。その光景は、宗教的とさえ感じられる雰囲気で、一字一字に思いを込める写経に似ていた。彼らの年間予算は十数万円、交通費は自費、昼食は手弁当。仕上がった点字の本には彼らの名前はどこにもないという奉仕活動を目の前にする時、その純粋性に心は大きく震えた。

パソコン対応の点字プリンターの必要性を

聞いてみると、神の手のような素晴しい機械のことは知っているが、年間十数万円の予算では百万円以上の機械の購入は不可能だという。これを聞いた時、第千回例会の記念事業はこれしかないと思い、ＬＣＩＦも必ず呼応してくれると確信した。

　事業が決定すると、あとは十月の第千回例会まで時間との競争である。申請書の地区キャビネットへの提出、準地区申請は一回二件まで、地区キャビネット会議の承認、ＬＣＩＦ送付、国際理事会での承認、機材の発注。これらの制約と所要日数を考えると、小船がいよいよ激流に差し掛かったという思いであった。

　新年度になり、ＬＣＩＦから返事待ちの心配の日が続いたが、幸いにも早めに内諾を頂くことが出来た。早速、記念例会の準備に取り掛かった。メーンはＬＣＩＦ交付事業の発表である。この発表を盛り上げるため、点訳作業場面や今回寄贈する機材によるパソコン入力から点字印刷までを収録したビデオ紹介と、点訳ボランティアの小講演などを企画。どれも苦心の連続であった。その甲斐あって当日は、市長、地区ガバナー始め大勢の来客を迎えて周年記念例会のように盛会となった。中でもビデオ上映は来客者の理解と共感を得たのか、終了時には大拍手を頂いた。

　ヘレン・ケラー女史が一九二五年にライオンズに「盲人の騎士たれ」と訴えたことで、視覚障害者のために偉大な奉仕活動を展開した、その何百分の一でもよい、私たちは彼らのために奉仕が出来れば幸いである。そうして、神の手のようなハイテク機器がもっと世の中に普及することを願ってやまない。

（真珠加工販売業・62歳）

ボランティアの良心が支える アイ・キャンプ奉仕活動

福島　武（長崎）

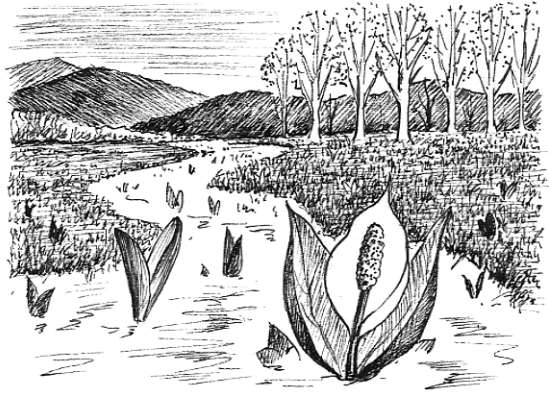
佐賀県・神埼ライオンズの眼科医、倉富彰秀は九年にわたり、インドやバングラディシュで年一回のアイ・キャンプ奉仕活動を続けています。これまで九回の活動で、千人を超える人々に手術を行い、インドではあのマザー・テレサから感謝状を受けています。

　本年度、この事業を支援するために、ＬＣＩＦに交際援助交付金を申請し承認されました。しかし、地区役員は一度も現地を訪問していないことから、地区ＬＣＩＦ国際協調大会参加委員長として、昨年十二月のバングラディシュでの活動に同行することにしました。

　今回のアイ・キャンプは十二月二十七日から三十一日の日程で、ガジプール県コナパリ村にある国際エンジェル協会内の診療所で、失明した白内障患者に眼内レンズを入れる手術を無償で行う活動です。出発当日、福岡空港に集まった一行は、倉富先生と福岡県飯塚市の眼科医・岡義隆先生、看護師二人のほか、大学生三人、看護学校学生三人、製薬会社社員二人のボランティア。更に現地で横浜の眼科医・吉野健一先生が加わりました。吉野先生はインターネットで倉富先生の活動を知り参加されたそうです。チームは全員が自費参加の上、医師が十万円、その他のメンバーは五万円の寄付をして参加しているとのこと。学生たちもアルバイトで貯めたお金で参加しています。

　福岡空港からタイ・バンコクを経て、バングラディシュのダッカ空港まで八時間半。空港から目的地へは五十分で到着し、その後一時間も経たないうちに病院で手術に取りかかりました。長旅の疲れもなんのその。「患者さんが待っているから少しでも早く手術してあげたい」と、一刻も無駄に出来ないというすごいエネルギーを感じました。

　チームの活躍は素晴らしいものでした。三十三歳の若さの岡先生は、休憩もなく九時間

連続で手術。倉富は診察のほか現地医師の指導にもあたりました。特にその活躍を称えたいのがフル回転で活躍した看護婦さんたちです。手術が始まるのが午前九時なので、その二時間前から準備を開始。すべての手術終了後も二時間かけて後片付け。その後七十分の滅菌処理を二回繰り返し、ようやく一日が終了。一日の睡眠時間が二時間という日が五日間続きました。そして、若いボランティアの方々が手術や診療をアシストし、患者を介護する姿には、感動を覚えました。彼らに出会えたことを、本当に幸福に感じました。

イラスト／小川和政

　今回は結果的に、八十八人の方々に光が蘇りました。現地では通常はこうした手術が出来ず、医師が薬品やレンズ、手術器具を日本から持ち込むこのアイ・キャンプが唯一の機会とのことでした。これらの活動を支援するボランティア会も結成されていますが、資金は全く不足しており、倉富は毎年多額の費用を負担しながら、活動を続けています。我が地区の至宝であり、日本の良心そのものと言えるでしょう。

　眼科医のメンバーで、この海外ボランティアに賛同される方があれば、ぜひご協力ください。全国のライオンズの励ましと協力をお願いします。

（不動産管理仲介・57歳）

幼少の思いが今ここに

柴田　八代子（兵庫県・福崎サルビア）

　すぐ近くにある辻川山への遠足に着て行きたくて、母が編んでくれるベストが出来上がるのを横でじっと待ち、自分で作ったリボンを胸に眠れない夜を過ごしたことを覚えてい

る。結婚して洋服店に嫁いだが、店で仕立てるのは紳士服。女性のファッションの仕事をしたいという気持ちを止めることが出来なかった。三十代半ばになって、ようやくファッションの仕事を始めることが出来た。その時のあまりの喜びようを評して、「水を得た魚」と言われたことを覚えている。

初めてパリコレクションへ行った時のあのときめきは、今でも忘れられない。私はウンガロ・ジャパンを代表して参加した九人のうちの一人だった。自分の席には「Shibata Yayoko」のネームがあり、席に座ってふと前を見ると黒縁のサングラスをかけた大内順子さんの姿が飛び込んできた。大内さんは世界のファッションの流れを決めるジャーナリストの一人だ。新聞にもパリコレクションの記事のほか、ウンガロ・ジャパンの私たちのことも掲載されていた。今もなお心に深く刻まれているのが、ウンガロの服をまとったファンの貴族たちが次々と入場する場面だ。それはまさに一つのドラマだった。サロンではオートクチュールの採寸が行われる。美智子妃殿下の寸法もキープされているとのことだった。

ヨーロッパは世界のファッションの中心。現在、多くの女性が履いているパンツ（ズボン）も、十六世紀、イタリア・フィレンツェのメディチ家に生まれたカトリーヌ・ド・メディシスをおいては語ることは出来ない。フランスの王妃となったカトリーヌは、夫の死後に摂政としてフランスを治めた人物である。当時のイタリアはヨーロッパにおける騎馬術の先進国で、カトリーヌはイタリア・コモ湖畔に別荘を持ち、乗馬と狩猟がたいへん得意であった。そんな彼女が一世を風靡したそんな時代に、パンツは生まれた。

気軽に履いているパンツも、その始まりに目を向けてみると、なかなか面白い。

（ブティック経営・63歳）

南カリブの島々を巡るLCIF・MJFクルーズ

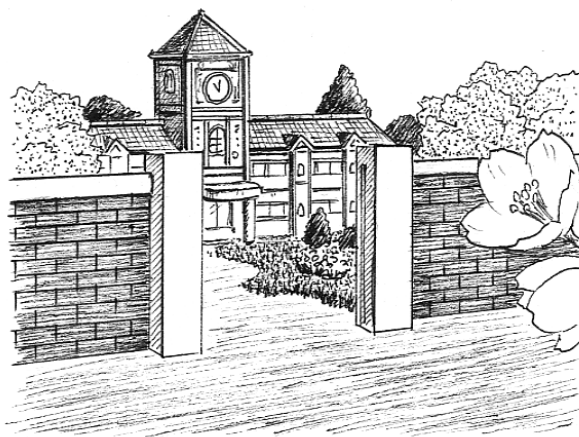
大工園隆（京都イースト）

今年で四回目となるLCIF・MJFクルーズは、前国際会長であるケイ・K・フクシマLCIF理事長がホスト役を務められ、南カリブ海で開催された。LCIFクルーズは、毎回世界各国からライオンズとその家族約百人が集まり、豪華客船で島々を巡る、フレンドリーな楽しいクルージングである。八日間の航海の間、いろいろな行事が執り行われるが、メーン行事はやはりMJFを称える特別なセレモニーである。

十一月二十日、船上で行われたMJF昼食会の後、ラペル・ピンの授与式が会場をシアターに移して行われた。フクシマ理事長は一人ひとりに感謝の言葉を述べながら、襟元にピンを付けられた。今回初めてMJFになられた方も大勢いた。ピンを胸に盾を持って、誇らし気にフクシマ理事長と記念写真に収まる様子は、見ていても気持ちの良いものであった。

今回の航海は、プエルトリコのサンファンを出港して途中バージン諸島のセント・トーマスに寄港。更に南へ進路を取り、セントキッツ、グレナダ、それから西へ向かってマルガリータ、アルバと南米ベネズエラの島々を巡るクルーズだった。セントキッツ、グレナダ、アルバでは、地区ガバナーを始め地元ライオンズクラブが大勢のメンバーでツアーと歓迎会を用意し、盛大に迎えてくれた。いずれも歴史あるクラブながら、若いメンバーが多いのが印象的だった。

グレナダでは五十周年を迎えたグレナダ・ライオンズクラブがホストを引き受け、レオクラブのメンバー共々熱烈な歓迎をしてくれた。たいへん華やいだ雰囲気の中、野外昼食会が

行われたが、この昼食会の始まる前、南国特有のスコールがあり、すこぶるひどい雨に見

舞われた。が、大きな特設テントを用意して頂いたので大助かりだった。

最終寄港地のアルバでは、結成五十五周年を迎えたアルバ・ライオンズクラブのメンバーが島内を案内してくれて、その後、例会と歓迎会に参加した。アルバは南カリブ海で最も海岸の美しい島と言われているが、第一回の北カリブ、第三回の西カリブ同様、「素晴らしい」の一言ではとても表現出来ないほどの美しい海だった。

今回のクルーズで、フクシマＬＣＩＦ理事長と八カ月ぶりに会話する機会に恵まれた。流ちょうな日本語で、ライオンズクラブのことやＬＣＩＦの必要性や活動などを話されていた。特に、理事長のキャビンにお邪魔した時には、和やかな雰囲気の中でたいへん熱心に、一時間を超えるお話を頂き、貴重な時間を過ごすことが出来た。

次回の第五回ＭＪＦクルーズは、二〇〇四年十一月六日～十三日の予定で行われる。ロサンゼルス・ロングビーチを出港し、メキシコで三カ所に寄港するコースが予定されている。ホスト役は、次年度のＬＣＩＦ理事長に就任されるテーサップ・リー国際会長である。このクルーズは、一キャビン二人の参加で千ドルのＭＪＦ献金がセットされている。詳しくはＬＣＩＦへお問い合わせ頂けば、情報を入手出来る。

皆さんも、来年度の旅行の企画として、この「リラックス旅行」を考えてみてはいかがだろう。

（不動産業・59歳）

初級編

ライオンズ・スクール

ライオンズクラブ入門

第4章　国際協会の組織

ライオンズクラブ国際協会の会員と言えば、チャーター（認証）を受けたライオンズクラブのことを指す。つまり一人ひとりの会員は、それぞれが所属する単一クラブの構成員であり、その単一クラブが国際協会の構成員となる。世界には約四万六千のライオンズクラブがあり、国際協会はその全クラブを管理するため、国際本部を頂点に、国や領域で区分した複合地区、準地区という下部機構を設置している。

世界のクラブを統括する国際協会

「国際会則」では国際協会の目的として、「国際会則」（ライオンズクラブの目的」に「ライオンズクラブという奉仕クラブを結成し、チャーターを交付し、管理する」と「各ライオンズクラブの活動を調整し、運営の標準化を図る」の二つを加えた八項目を掲げている。

世界のリーダー、国際協会役員

国際協会の会員であるクラブの意志を集約するために、協会の最高議決機関である国際大会が毎年開催される。国際会則の改正や、国際会長、副会長、国際理事の選出は国際大会で投票によって行われ、各クラブは代議員を送ってクラブの意志を伝達する。

国際協会の役員は、国際会長、前国際会長、第一副会長、第二副会長、国際理事、地区ガバナー、事務総長、会計、幹事、それに国際理事会の任命する役員である。そのうち、国際会長と前国際会長、第一、第二副会長が執行役員、国際協会本部事務局の運営に当たる事務総長、会計、幹事は行政役員と呼ばれる。行政役員は国際理事会により任命されるが、その他の役員は、いずれかのクラブのグッド・スタンディングの正会員でなければならない。

協会と世界中のすべてのライオンズクラブを代表する国際役員には、大きな責任と判断力が求められる。特に国際会長は一年間の方針を決める国際プログラムを打ち出し、それを推進するために世界各国を歴訪。在任中に自宅で過ごせるのは半月ほどという多忙ぶりだ。

役員選出は、前会長を除く執行役員と国際理事は国際大会で、地区ガバナーは準地区の年次大会で行われる。任期は執行役員と地区ガバナーが一年で、国際理事は二年。国際理事は定数三十三人で、偶数年の国際大会で十六人が、奇数年には十七人が改選される。

国際役員の主な役割と就任資格、任期は以下の通り。

国際会長：国際大会やあらゆる国際理事会を主宰。協会の業務及び活動を監督する。就任するには第二、第一副会長を務め、国際大会の代議員投票で信任を受ける。任期は当選が宣言された時から次回国際大会で後継者が宣言されるまで。

副会長：国際会長の職務遂行が不可能な時に、その職務を代行する。第二副会長は国際大会の代議員投票で選出される。立候補するには、国際理事経験者で、所属地区（複合地区も含む）の推薦を受け証明書を提出する。任期は当選が宣言された時から次回国際大会で後継者が宣言されるまで。

国際理事：国際理事会の構成員。国際大会の代議員投票で選出され、立候補するには、地区ガバナー経験者で、所属地区で推薦を受け証明書を提出する。任期は後継者が選出され就任するまで。

地区ガバナー：国際理事会の監督の下、所属地区において国際協会を代表する。地区運営の責任者。所属地区の地区ガバナー選挙で選ばれる（立候補資格は次ページ「地区ガバナーの役割と選出」の項を参照）。地区ガバナーの任期は当選した年の国際大会閉会時から、次回国際大会の閉会時まで。

協会運営をリードする国際理事会

国際協会の執行機関として実質的な運営に当たる国際理事会は、国際会長、前国際会長、第一副会長、第二副会長、及び三十三人の国際理事から構成される。国際理事の選出には、世界を七つの会則地域に分けてそれぞれ定数が決められている。南アジア、アフリカ及び中東＝三人／オーストラリア、ニュージーランド、パプア・ニューギニア、インドネシア及び南太平洋諸島＝一人／南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ及びカリブ海諸島＝三人／アメリカ合衆国及びその領域、バミューダ及びバハマ諸島＝十五人／東洋・東南アジア＝五人／ヨーロッパ＝五人／カナダ＝一人。日本は東洋・東南アジア地域に属している。

理事会の任務は、すべての役員及び委員を全面的に統括監督するほか、国際協会の業務と財産、資金を総合的に統括、管理すること。定例会議は年四回で、国際大会閉会直後と、十月か十一月の秋季、三月か四月の春季、そして国際大会直前に開催される。

国際理事会には、会則及び付則、大会、地区及びクラブ・サービス、会員増強、財務及び本部運営、指導力育成、長期計画、PR、奉仕事業、その他（協会運営に必要と考えられるもの）の常設委員会が設置され、委員には国際会長の指名を受けて国際理事が就任する。また国際会長は、国際理事会アポインティーとして元国際役員を年間七人以内、任期一年で任命出来る。

国際理事会の下には執行委員会があり、国際会長と前国際会長、第一、第二副会長、それに国際理事から選ばれた一人の合計五人で構成される。理事会の閉会期間中には、理事会に変わってその職務を代行する。

国際協会を支える本部事務局

協会の行政役員である事務総長、会計、幹事は、国際協会本部事務局の運営スタッフである。世界のライオンズクラブの活動を支える本部事務局は、アメリカ・イリノイ州オークブルック市にある。本部事務局では十二の部局の下に四十四の課があり、約三百人の職員が働く。中でも世界各地のライオンズクラブと密接な関係にあるのが地区・クラブ行政部で、その下にある太平洋・アジア課が日本語の翻訳とそれに伴う業務を行い、日本のクラブとの通信に当たっている。本部事務局はライオンズ会員や一般市民に開放されており、日本からの訪問者には、日本語の堪能なスタッフが事務局内を案内してくれる。

複合地区―複数の地区で構成

国際協会は世界各地に分布するライオンズクラブとの間に、協会の出先機関である複合地区、地区の地区機構を設けている。複合地区は二つ以上の地区をもって構成され、「複合地区会則」に基づいて運営されている。

複合地区の組織

「複合地区会則」ではその目的を、「複合地区内の融和協調を図ること、

●国際協会組織

——方針／指揮系統
-------管理的支援

国際理事会
協会の運営指針となる全般的方針を設定することによりその目的と目標の達成に向けて指揮する。

執行委員会
国際理事会の閉会期間中、理事会に代わって職務を遂行する。

国際会長
国際協会の目的と目標を促進するために国際会長方針を実行し、協会の運営を管理する。

事務総長
会長が国際協会の目的と目標を遂行するのを支援し、本部と本部職員を管理する。

地区ガバナー

副地区ガバナー

キャビネット幹事・会計

リジョン・チェアパーソン

ゾーン・チェアパーソン

ゾーン・チェアパーソン

諮問委員会

ライオンズクラブ

ライオンズクラブ

ライオンズクラブ

代議員　代議員　代議員

国際大会

国際協会の基本的活動方針に従い、複合地区内の各地区の運営を円滑にすること」と説明している。

複合地区には、所属する全地区の地区ガバナーを構成員としてガバナー協議会が設置される。追加構成員として、前地区ガバナーを参加させることも出来るが、日本国内の地区では現役の地区ガバナーだけで構成しているのが現状だ。その中で議長や副議長、幹事、会計などを各一人互選。幹事と会計は兼任することが出来る。議長は複合地区の責任者であり、ガバナー協議会議長連絡会議の構成員となる。

ガバナー協議会は執行機関として複合地区の運営を管理し、役員を選任、また委員会を設置して委員長や委員を委嘱する。委員会は協議会が必要と認めたものだけが設けられる。

一年の総決算、複合地区年次大会

各複合地区は、国際大会開会日の十五日以前に完了するように、年次大会を開くことが決められている。

複合地区大会にはさまざまな議案が用意され、担当別に分科会が設置される。この分科会で決議されたことは、出席者全員が集まる大会で報告され、そこで採否が決議される。議決はすべて、クラブが派遣した代議員総数の過半数をもって決定される。複合地区大会では、国際会則及び付則に反しない限り、国際協会への提案事項を含むあらゆる事項を決定することが出来る。

開催場所はガバナー協議会で決定し、大会の設営に協力するホスト・ライオンズクラブが指定される。

全国の協調を図る議長連絡会議

日本は八つの複合地区に分割されているが、全日本レベルでの活動を円滑に進め、協調を図るために、八複合地区ガバナー協議会議長連絡会議を設置している。構成員は各複合地区ガバナー協議会の議長。この連絡会議では、各複合地区に共通する事項や全日本レベルの委員会活動、また対外的に共同歩調をとるための事項などについて、連絡と協調、推進を図る。その事務を担当するために設置されたのが日本ライオンズ連絡事務所である。全国共通の委員会には、日本ライオンズ連絡事務所管理委員会、ライオン誌日本語版委員会、国際理事候補者選挙管理委員会、会計監査委員会がある。また、全日本レベルでの連絡、協調を必要とする委員会に関しては議長連絡会議の決定により、複合地区委員長連絡会議が開かれる。現在は会則、国際大会、ＹＥ、ＩＴの委員会で、それぞれ連絡会議が持たれている。

地区――各クラブの運営を円滑に

地区は国際協会の出先機関で、その目的は複合地区と同様に、「地区内の融和協調を図ること、国際協会の基本的活動方針に従い、地区内の各地区の運営を円滑にすること」とされている。

地区の組織

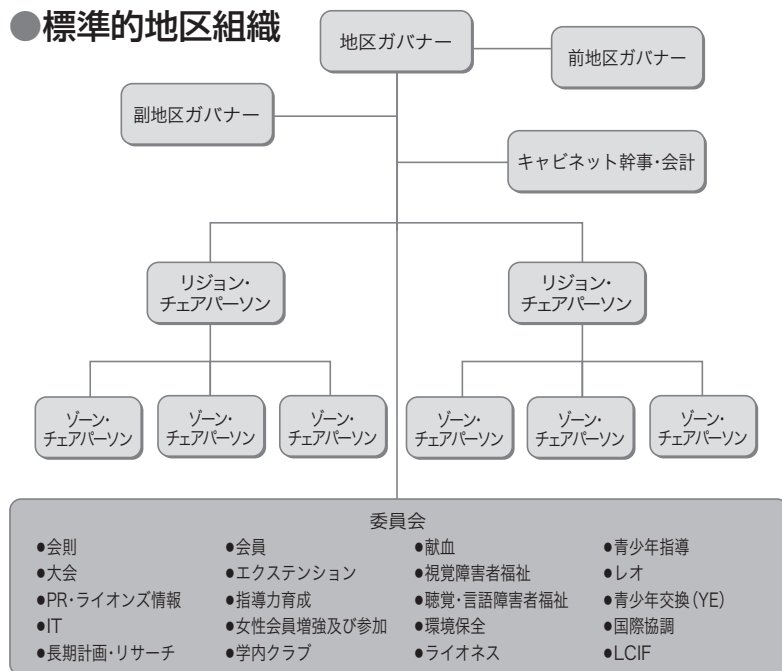
クラブ数が三十五以上、グッド・スタンディング会員が千二百五十人以上であることが、地区創設の最低条件となる。

地区は地理的な位置によって、十～十六のクラブから成るリジョンに分けられ、リジョンは四～八のクラブから成るゾーンに分けられる。それぞれの責任者として、リジョンではリジョン・チェアパーソン、ゾーンではゾーン・チェアパーソンが運営に当たる。リジョン・チェアパーソンについては、地区ガバナーが任命するかどうかを定める権限を持ち、任命されなかった場合は空席となる。

地区ガバナーの役割と選出

国際協会の役員である地区ガバナーは、地区内で国際協会を代表するという役割を担う。また地区の運営責任者としてキャビネット構成員の指導、監督に当たる。その責任として、国際協会の方針や目的を推進すること、新クラブの結成を監理すること、ライオンズクラブ国際財団（ＬＣＩＦ）と協会の全奉仕活動を推進することなどが挙げられる。

地区ガバナーの選挙は地区年次大会で行われる。選挙は代議員による無記名投票（過半数の賛成投票を得なければならない）か、各地区の会則及び付則の規定に従った方法で行われる。その選挙結果は、国際理事会に提出され、その採択を経て有効となる。つまり、地区ガバナーは国際理事会の任命を得て初めて就任出来ることになる。

地区ガバナーの立候補資格は、地区内にあるグッド・スタンディングのチャーター・クラブのグッド・スタンディングの正会員であること、所属クラブの推薦あるいは地区内の過半数のクラブの推薦を受けていること、更に現職の副地区ガバナーを務めていること。ただし、副地区ガバナーが立候補しない場合と空席の場合に限って、地区役員（ゾーン・チェアパーソン、リジョン・チェア

パーソン、あるいはキャビネット幹事または会計、地区ガバナーが任命した地区委員長〈336複合地区のみ、キャビネット副幹事または副会計を含む〉）を務めているか、一年以上務めた経験がある会員すべてが、副地区ガバナーの資格を満たしているものと見なされる。

地区ガバナーが正式に就任するのは、国際大会の閉会時となるため、通常四月から六月にかけて開かれる地区年次大会で選出されてから、六月末から七月初旬にかけて開かれる国際大会で就任するまでの期間は、「地区ガバナー・エレクト」と呼ばれる。

●標準的地区組織

地区ガバナー
前地区ガバナー
副地区ガバナー
キャビネット幹事・会計
リジョン・チェアパーソン
リジョン・チェアパーソン
ゾーン・チェアパーソン
ゾーン・チェアパーソン
ゾーン・チェアパーソン
ゾーン・チェアパーソン
ゾーン・チェアパーソン
ゾーン・チェアパーソン

委員会
●会則
●大会
●PR・ライオンズ情報
●IT
●長期計画・リサーチ
●会員
●エクステンション
●指導力育成
●女性会員増強及び参加
●学内クラブ
●献血
●視覚障害者福祉
●聴覚・言語障害者福祉
●環境保全
●ライオネス
●青少年指導
●レオ
●青少年交換（YE）
●国際協調
●LCIF

副地区ガバナーの役割と選出

副地区ガバナーは地区ガバナーの補佐役を務めると共に、その任務に精通しておくことが求められる。翌年の地区ガバナー就任に備えて地区運営などを学ぶ勉強の期間であるとも言える。

副地区ガバナーに立候補するには、地区内にあるグッド・スタンディングのチャーター・クラブのグッド・スタンディングの正会員であること、所属クラブの推薦あるいは地区内の過半数のクラブの推薦を受けていること、就任する時点で、クラブ会長を半期以上、クラブ理事会の構成員として二年以上務め、かつゾーン・チェアパーソン、リジョン・チェアパーソン、キャビネット幹事または会計のいずれかを半期以上務めていることが条件となる。

副地区ガバナーも地区ガバナーと同様に、地区年次大会で選挙によって選ばれる。

ガバナーを支える地区キャビネット

地区ガバナーは実質的に地区の運営に当たる地区ガバナー・キャビネットを主宰する。キャビネット構成員は、地区ガバナー、前地区ガバナー、副地区ガバナー、地区名誉顧問会議長、副地区ガバナー、幹事、会計、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、地区ガバナーが任命した地区委員長、そして地区ガバナーが任命する者で、この構成員が地区役員と呼ばれている。キャビネットは地区の運営方針を決定するため、原則として年四回のキャビネット会議を開催する。

地区の決議を行う地区年次大会

地区の一年を締めくくる年次大会では、さまざまな決議や承認など、地区にとって重要な問題が扱われる。それと同時に、他クラブと親交を深める交流の場であり、情報交換の場でもある。

地区年次大会は、国際大会開会日の三十日以前に完了するように開くことが決められている。

地区大会は、参加した現・元国際協会役員と、単一クラブから派遣された代議員で構成され、決議事項はその投票の過半数をもって決議される。地区大会での重要な決議事項は、前述した次期地区ガバナーと副地区ガバナーの選出だが、そのほかにもさまざまな事項が審議される。そのため、それぞれの担当ごとに分科会を設けて検討し、その結果を大会に報告して全員の承認を受ける。地区大会では、国際会則及び付則に反しない限り、国際協会への提案事項を含むあらゆる事項を決定することが出来るが、国際協会への提案については複合地区大会を経なければならない。

地区年次大会はキャビネットが決定した場所で開催され、期日はキャビネットとホスト・ライオンズクラブによって決定される。

We Serve

ライオンズ文庫

リーダーシップを養う　新刊

国際協会が、総合的リーダーシップ育成プログラムの一環として開発した『リーダーシップ育成マニュアル』を基に、ライオン誌日本語版委員会が編集。現在、東洋・東南アジア・フォーラムを始め、各エリア・フォーラムの前後に実施されている、国際協会主催の上位ライオンズ・リーダーシップ研究会のテキストも、この『リーダーシップ育成マニュアル』がベースになっている。

A4判 68ページ　400円･送料実費

※お申し込みは文書で、郵送またはファクスでお願いします。
※地区名･クラブ名･お名前･ご住所･お電話番号をお忘れなく。
※請求書･振込用紙は、品物に同封します。（大口注文の場合は別便で送付）

〒104-0045東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階 ライオン誌日本語版事務所 TEL：03-3542-9571 FAX：03-3546-2630 E-Mail：office@thelion.jp

キリトリ線

ライオンズ文庫･『ライオン誌』創刊号復刻版･『ライオン誌』専用ファイル 注文書

●リーダーシップを養う	□部	●ウィ･サーブ	□部
●ライオニズムよ永遠に	□部	●用語の達人	□部
●『ライオン誌』創刊号復刻版	□部	●『ライオン誌』専用ファイル	□部

地区名	クラブ名	お名前
33　-　地区		

ご住所　（　　—　　）	お電話番号

俳壇

■選者　森　澄雄

【特選】

嵯峨日記記せし庵雪しまき　（千葉県・船橋シニア）小嶋　廣次

（評）芭蕉が『嵯峨日記』を著したのは向井去来の草庵「落柿舎」であった。冒頭に「元禄四年辛未卯月十八日　嵯峨にあそびて、去来ガ落柿舎に到る。凡兆共ニ来りて、暮に及びて京ニ帰る。……」とある。いま雪がはげしく降り、風が吹きまくっている。

満潮に立てる淑気の大鳥居　（大阪府・堺浜寺）平井真佐男

（評）広島県宮島の厳島神社であろう。祭神は天照大神の子市杵島姫命・田心姫命・湍津姫命の三女神。朱塗の大鳥居が寝殿造の本殿の正面の海中に立つ。いま満潮のとき、元日の瑞祥の気にみちみちている。推古天皇即位元年（五九三年）佐伯鞍職の創建と伝えるが、安芸の国守となった平清盛が当時の神主佐伯景弘に再建を命じ、仁安三年（一一六八年）優美な社殿を完成させた。

（応募要領→三月号56ページ）

【入選】▼

着飾りて気を引き締めて初点前　（新潟県・上越直江津）齋藤　政一

大試験十秒前の深呼吸　（新潟県・柏崎）高橋　満

風花に降りて一人の軽井沢　（新潟県・三条）佐野　哲之

そこここに四万の湯煙日脚伸ぶ　（群馬県・高崎）江原まこと

あの店も閉めしと聴けり夕霧忌　（千葉県・房総勝浦）君塚　一雄

共に古希迎へて夫と屠蘇を酌む　（千葉県・大栄）野平婦基子

三寒の賑はひにあり誕生寺　（千葉県・船橋シニア）紺谷　宗男

職引きてより無礼講春炬燵　（東京御茶の水）栗原保之助

萎えし花つけて芭蕉の破尽す　（愛知県・南知多）内田三三子

合掌の里一望に雪景色　（愛知県・西尾）牧　孝

独り居の深閑として部屋冴ゆる　（三重県・松阪はなしょうぶ）大西　さよ

芒野の果てなる釣瓶落しかな　（兵庫県・神戸シニア）中村麦芽子

縫初のときすましたる裁ちばさみ　（大阪夕陽丘）角野　慶子

口中の花びら餅に牛蒡の香　（大阪府・堺浜寺）宮部志都代

紀伊の山どこまでも山雪の山　（和歌山県・伊都高野山）慈幸　三沙

歌壇

■選者　春日真木子

【特選】

かじかめる両手に提げしレジ袋雪降る町を咳こぼしゆく
（千葉県・館山中央）荻野　貴子

（評）雪の降る日の買物帰り、かじかんだ両手にレジ袋を提げて歩く。一歩一歩、雪の道を踏みしめながら俯き加減に歩く様子が、「咳こぼしゆく」であざやかになる。雪降る町をレジ袋を提げて歩く―ここまでの歌は例が多いが、「咳こぼしゆく」が、そのときの特殊の状況を加え、リアリティを伴ない、陰翳をふかめている。日常生活の、平淡な事柄のなかにも、微妙な心の動きはあるもの。単なる事柄の報告に終らぬよう抑揚をつけることが大切である。
今号は、加藤、内田両氏の作品にも注目した。

（応募要領→三月号56ページ）

【入選】▼

香と共に崩れゆくもの見えざれど卓の林檎は熟れを増しゆく
（青森まほろば）加藤　捷三

西の辺に厚き雲あり冬岩木山(いわき)企めるごと姿を見せず
（青森県・弘前チェリー）高橋　修一

デジカメは女こどもの玩具だと言いつつ我もそっと買いたり
（栃木県・西那須野）佐藤　嗣人

きざはしに吾を押しくるる孫の手の温しも箱根神社に詣ず
（神奈川県・小田原）清水　幾代

眠りにつきし嬰児の垂りたる指先がほんのり紅し陽に包まれて
（兵庫県・加美）藤田紀久子

湯屋のけむりふき来る駅に立つ女(ひと)の手籠に見ゆる葱瑞々し
（兵庫県・神戸シニア）野口　章子

古語辞典に父愛用の証(あかし)あり傍線・注釈・署名までもが
（兵庫県・神戸シニア）多田　博子

畑の小屋の日溜りに坐し姑の亡く野鳩の影の頭上をよぎる
（和歌山県・岩出）明治むつみ

この星に言葉生まれてはるかなる記憶刻みしシュメールの板
（大阪コスモス）内田喜美子

桂浜の五色の小石拾ふ手を太平洋の波が来て打つ
（奈良県・大和高田）堀江　禎子

柳壇

■選者　大木俊秀

【特選】

後進に道を譲るという落ち目　（青森県・弘前中央）高橋　岳水

（評）政界や経済界、あるいは身近な団体や企業を見ても、一度トップの座を占めると、ちょっとやそっとでは退こうとしないものである。禅譲と言い、勇退と言う。後進に道を譲るとも言う。きれいなことばだが、舞台裏や水面下ではドロドロの戦と駆け引きが展開される。落ち目にはなりたくないが仕方なし。

氷柱から落ちるしずくにほっとする　（岩手県・水沢中央）織田　克文

（評）棒のように、柱のように、あるいは簾のように、軒、枝、岩などから垂れ下がるツララ。小林一茶の句に「御仏の御鼻の先へつららかな」があり、今の俳句では「庖丁で氷柱をおとす二階より」（川崎展宏）などと詠まれている。カチカチに太く固まった氷柱が陽光を浴びてしずくを垂らしながら細く小さくなっていく。やれやれ、春も近いか。

（応募要領→三月号56ページ）

【入選】▼

謝れば済む一言が出ぬ頑固　（青森県・五所川原）坂本　憲昭

ちっぽけな過信をポケットの中に　（青森県・八戸中央）大久保健峰

成人をイラクに誘い肝試し　（岩手県・藤沢岩手）藤沢　誠

流す血を誰が洗うかサマワの地　（岩手県・水沢中央）佐藤　恒夫

ひと言が入道雲になる本音　（新潟県・見附）宇之津滋朗

二次会は天下を取った者ばかり　（千葉県・東庄）藤崎　久男

カーナビとコミュニケーション一人旅　（神奈川県・寒川）小島　清二

勝ってくるぞと歌わずに派遣され　（兵庫県・宝塚グリーン）中島　弘風

うますぎるゴルフ出世の邪魔をする　（京都鴨川）栩谷　四朗

山百合が俺に目線を合せたな　（島根県・松江湖城）長谷川　孝

嘘もある税申告を終わらせる　（福岡県・北九州洞海）松本　隆吉

異文化に触れてひと皮剥けてくる　（宮崎橋）井上　忠一

生きている曲がりくねった長い道　（宮崎橋）甲斐　忠視

由緒ある橋も消される街づくり　（長崎県・諫早）大﨑　博正

近寄ればするりと逃げる青い鳥　（長崎県・佐世保西）神谷　治雄

伝言板

■「全国骨髄バンク・ボランティアの集いin函館」のご案内

「トピックス」（34ページ）でご紹介した全国骨髄バンク推進連絡協議会主催の「2004全国骨髄バンク・ボランティアの集いin函館」が、五月二十九日、函館市芸術ホールで開催されます。第一部：記念式典（十三時～）、第二部：講演&トーク（十四時十五分～）、第三部：懇親パーティー（十八時半～　会場：ホテル函館ロイヤル）の構成になっています。第一、二部は参加費無料、第三部のパーティーは会費四千円です。参加のお申し込みは四月末日締切です。詳細は左記までお問い合わせください。

函館市大手町五・一〇　ニチロビル二一一号（〒040・0064）ライオンズクラブ函館合同事務局
TEL：〇一三八・二六・五五五八
FAX：〇一三八・二六・八二三四

■川柳の入選者発表

兵庫県・和田山ライオンズクラブが二〇〇三年十二月号「伝言板」で募集を行った「仲間」をテーマにした川柳には、全国から五十五人、百五十七句の応募があり、波多野五楽庵先生（元地区ガバナー／青森県・弘前チェリー）の選により、左記の特選三句のほか、入選十句、佳作二十句が決定しました。

特選：「血脈は無いけど兄よ弟よ」君塚一雄（千葉県・房総勝浦）／「逆境へ仲間の助言温かい」武田東六（大阪中部）／「地球より重い絆という仲間」才村隆（京都府・綾部）

■フォスター・プランから

フォスター・プランは、途上国で子どもに焦点を当てた地域開発を行う国際援助団体（NGO）。現在、アジア・アフリカ・中南米の四十五カ国で、保健医療、教育、住環境整備など子どもたちをとりまく生活環境の向上を目指した開発援助プロジェクトを進めています。世界で約百万人、日本で約五万人が参加しているフォスター・ペアレント制度は、プロジェクトへ月々支援金を送り、途上国の子ども（フォスター・チャイルド）と手紙などで交流を図るもの。フォスター・プラン日本事務所の公式ホームページ（www.plan-japan.org）では、こうした活動や子どもたちの生活などを詳しく紹介しています。また、それらの写真を使ったBGM付きEカードを送ることも出来ます。

■日本フォスター・プラン協会から読者プレゼントがあります（64ページ）。

訂正とお詫び

本誌一月号「ライオンズ・ニュース・カセット」（16ページ）で国際平和ポスター・コンテスト・キットの代金は十五・五ドルの、また「俳壇」（53ページ）の入賞者でライオン角田桂治郎とあるのはライオン角野桂治郎の誤りでした。お詫びして訂正致します。

ライオン誌事務所来訪者芳名録

月日	クラブ	氏名
1/29	東京御茶の水	市川 清一
1/29	北海道札幌アカシア	岩井 淳佳
1/29	愛知県名古屋ウエスト	白井 亮
1/29	東京葵	橋口 啓一
2/10	高知りょうま	竹崎 誠
2/13	大阪府池田	竹本 實生
2/13	千葉	岡野 正義
2/18	東京	三﨑 矩光
2/18	東京関東	野口正二郎
2/18	千葉県四街道	楠岡 巖
2/18	富山昭和	高田 順一
2/19	広島県宮島口	安井 忠充
2/20	北海道美唄	古谷野 環
2/20	北海道美唄	安藤 淳
2/24	東京柳橋	中島 洋吉
2/26	韓国	李 時煶
2/26	韓国	宋 奉奎
2/26	韓国	李 愚振
2/26	韓国	朴 鐘武
2/26	韓国	丁 重秀
2/26	東京柳橋	中島 洋吉
2/26	東京日比谷	清水 治
2/27	千葉県四街道	楠岡 巖

クラブ会員刊行物

●だれでも幸せになれる本

B6判 本文145ページ
1,200円

石森啓司（広島県・尾道ライオンズクラブ）発行／文芸社（TEL〇三・五三六九・三〇六〇）

＊人が幸せになるための「秘伝」。それはご先祖を理解し、正しくお付き合いすること。ご先祖は私たちの幸せを願っている。正しいお墓参りと正しい掛け軸の飾り方で、だれでも幸せになれる方法を解明。

読者から

▼本誌へのご意見・ご感想をお寄せください。編集部

女性会員について

●一月号「THEME／女性会員」の座談会を拝見しました。我がクラブにも四人の女性会員が在籍して活躍しています。たいへん気持ちの良い人たちで、クラブが楽しく明るくなっています。女性だからと力まないのが好ましいところです。あまり男性、女性を意識しないで、自然に協力し合うことが大事だと思います。

福島東●尾形省三

●分布図を見て、我が336－B地区が会員数減のワーストであることに驚きました。我々のクラブも会員増強が難しく、合併を考えざるを得ないほどの状況に追い込まれております。また、女性会員の特集を読んでそのパワーに圧倒されました。女性の力を得てこれを生かすことは、ライオンズの活動を大きく左右するものだと思いました。

鳥取県・米子南●実重忠敏

六十の手習い

●新連載「ライオンズのための分かりやすいIT講座」に期待しています。今や「パソコンの操作を知らない」では通用しない時代。私は還暦を過ぎましたが、この機会に少し手を出してみようかと思っています。どうぞよろしくお願いします。

山形県・天童王将●奥山誠

青少年健全育成のために

●一月号「インタビュー／社会人講師人材バンク」をたいへん興味深く拝見しました。現在どこの地域でも少子化を迎えております。子どもたちの健全な成長を願いつつ、同時に現実とのひずみにも頭を悩ませている状態です。貴稿を読みまして、何かと参考になり、自分たちの出来ることから何か始めたいと思いました。

岐阜県・山岡●西尾勇

冬晴れの一日

●温暖な姫路にも今冬初めての木枯らしが吹きました。縁側の日だまりでネコのまりちゃんが手足をのびのび、まどろんでいて、その側で『ライオン誌』を見ています。「ふるさと探訪」の四国の遍路は興味深く読ませて頂きました。今年は還暦を記念して「歩き遍路」に挑戦！　今、資料を集めているところです。

兵庫県・姫路西・家族●藤原和子

ライオンズを学ぶ

●ライオンズクラブに入会してまだ一年半。研修会などに参加し、ライオンズクラブの誕生や目的などを学びましたが、まだまだ未熟です。一月号からスタートした「ライオンズ・スクール初級編」を読み、改めてライオンズの在り方を見直すことにしました。これから更に勉強をして、実践で生かせるように頑張りたいと思います。

島根県・大社●園山雄一郎

真新しい献血手帳を見ながら

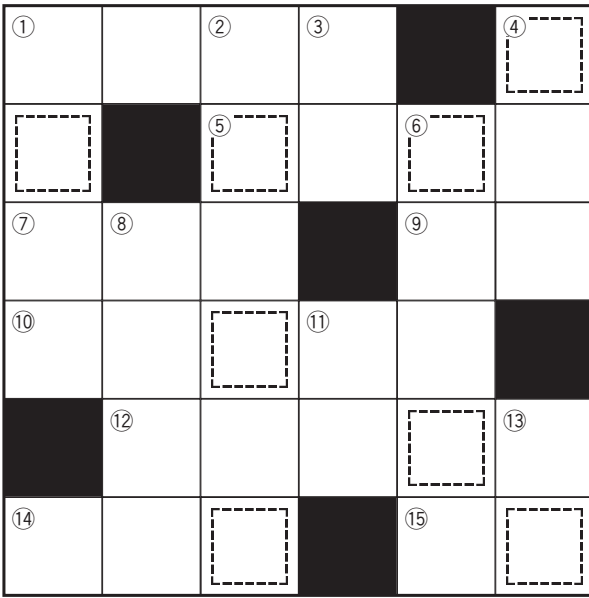
●一月十五日、十八年の人生で初めての献血をした。注射嫌いの私にとって献血はあまり気の進むものではなく、暗いイメージを持っていた。しかし献血車に入ると、その温かくて穏やかな雰囲気にびっくりした。採血も痛くないと言えば嘘になるが、終わった後には爽快な気分が残った。すべてが新鮮で面白かった。そして自分がだれかの役に立てたと思うと嬉しい。翌日友人に話すと、友人は献血は二十歳からだと思っていた。十代の健康な体で献血しないのはもったいないと思う。今度は友達も誘って行こうと思っている。

大分県・杵築・家族●福永真衣

『ライオン誌』を満喫

●『ライオン誌』を毎号楽しく読んでおります。日本各地の方々のご活躍が記事を通じて伝わってきます。一月号では、新連載「おいしい健康レシピ」のブロッコリーとエビの紅花風味スパゲッティもさっそく作りました。色合いも美しく、子どもたちにも大好評でした。「ふるさと探訪」の徳島の記事も良かったです。ゆっくり訪ねてみたいなぁと思っています。ライオン真木亮二の「獅子吼／音楽は世界語だ」も楽しく拝見しました。

埼玉県・川越●小林景子

クロスワードパズル

点線に入る文字をヒントを基に並べかえてください。正解者の中から十人の方に記念品を差し上げます。ハガキに答えと氏名、クラブ名、住所、電話番号、本誌の感想を書いてご応募ください（あて先は65ﾍﾟｰｼﾞ）。締切は四月二十日。

①		②	③	■	④［点線］
［点線］	■	⑤［点線］		⑥［点線］	
⑦	⑧		■	⑨	
⑩		［点線］	⑪		■
■	⑫			［点線］	⑬
⑭		［点線］	■	⑮	［点線］

解答 □□□□□□□□　ヒント：クラブの記念すべき日。

↓タテのカギ

⊠その形から「長靴」に例えられるヨーロッパの一国家。
⊠野球で一人だけ違う方向を向いているプレーヤー。
⊠張ったり、眩んだり。
⊠名高く、評判の高いこと。
⊠伝染性慢性結膜炎。ライオンズの視力ファーストはこの病気と戦う。
⊠木版画を作る時の下書き。
⊠身心統一のための実践方法。古代インドが発祥の地。
⊠「○○は友を呼ぶ」。

←ヨコのカギ

⊠家督を譲った人。
⊠効能以外に香りも楽しむことが出来る。
⊠赤と青の線がグルグル回る看板が目印の「○○○店」。
⊠イタリア語で牛乳の意。「カフェ○○」。
⊠虎の巻。
⊠一八八七年、ロシアに生まれたユダヤ人画家・版画家。
⊠「アコースティック」「エレキ」と言えば。
⊠「下着」「盆」「いかだ」の助数詞（数え方）は。

■前回の答え

ア	■	ナ	カ	オ	［レ］
ジ	カ	マ	キ	■	イ
ト	ウ	［ヘ］	ン	ボ	ク
■	ボ	ン	■	［ラ］	ン
マ	［ー］	ジ	ヤ	ン	■
［ケ］	イ	■	キ	チ	［ン］

答えは「ヘレンケラー」

おいしい健康レシピ

④骨粗しょう症の予防
「小松菜の餃子」

イラスト／吉田悦子

■フード・セラピスト **丸茂ゆきこ**
（東京ウィルライオンズクラブ／会長）

現代のストレス社会に対応した、食べ物と体と心の氣を結ぶ「結氣膳（ゆきぜん）」を提唱。豊かな健康づくりの普及に努め、新聞『夕刊フジ』『通信協会雑誌』などへの執筆活動、講演など多彩に活躍中。近著『手作り健康生ジュース』（主婦の友社）。

ちょっとぶつけたり、転倒しただけで思いがけず骨折してしまうほど、現代人は骨が弱っているようです。日本人の骨粗しょう症患者は無自覚を含めて約1,000万人で、その7割が中高年女性と言われます。骨の新陳代謝にかかわる女性ホルモン「エストロゲン」の分泌は30代後半から低下し、閉経を過ぎるころに著しく減少し始めます。そのため骨の新陳代謝のバランスが崩れ、カルシウム流出をコントロール出来ず、骨量が急速に減っていきます。女性に骨粗しょう症が多いのはこのためですが、男性も70歳前後から性ホルモンが低下し、80歳では若いころに比べて30パーセントも骨量が減ると言われます。骨粗しょう症が侮れないのは、大腿骨の骨折が寝たきり状態につながることにもなりかねないからです。若いうちから骨が貯金されているかどうかが大切で、骨は中医学でとらえる「腎」の働きとも深くかかわっています。腎の機能が低下すると老化速度が早まり、不妊、インポテンスといった生殖機能の低下を自覚することにもなります。国民栄養調査では、日本人に不足する栄養素の一つに「カルシウム」を挙げ、カルシウムを多く含む牛乳や乳製品を多く摂っている現代っ子の骨が弱いのは、食生活のアンバランスが原因としています。カルシウムも消化吸収されなければ骨の形成には役立ちません。カルシウム定着を助けるのは適度な運動と日光浴。更に牛乳、チーズなどの乳製品から効率よくカルシウムを吸収するには食べあわせも大切です。ビタミンDの多いきのこ類やビタミンAやビタミンCの多い野菜や果物、ビタミンEや鉄分を多く含む豆類やレバー、マグネシウムの多い昆布などがお勧めです。

今期は一年生クラブということもあり、移動例会、振替例会が多かった当クラブ。ライオン・テーマーを中心に重たいライオン旗や例会セットを持ち運ぶのも、健脚がまず第一と実感しました。

今月の健康レシピ

小松菜の餃子（4人分）

【材料】

小松菜：120g　干しシイタケ：2枚　長ネギ：1／2本　豚ひき肉：120g　干しエビ：小さじ1　しょうゆ：大さじ1　酒：大さじ1／2、片栗粉：大さじ1　ごま油：小さじ1　こしょう：少々　餃子の皮

【作り方】

1. 小松菜はゆでて水気をとり、荒みじんに切る。
2. 干しシイタケ、干しエビは戻し、長ネギと共にみじんに切る。
3. ボールに水気をよく切った1.と2.、豚ひき肉、調味料を加え、よく混ぜ合わせて餃子の皮に包む。
4. フライパンを熱してサラダ油を少々ひき、包んだ餃子を並べる。焼き色がついたら水カップ1／2を加え、ふたをして蒸し焼きにする。パチパチと音が聞こえたらふたを開け、ゴマ油をさっと回しかけて水分がとんだら出来上がり。

ホームページ http://www.marumo-yukiko.net

MY BEST SHOT

❶橋本収三　広島県甲山･69歳［寒釣］

講 評　■選：河相正名
日本写真家協会会員

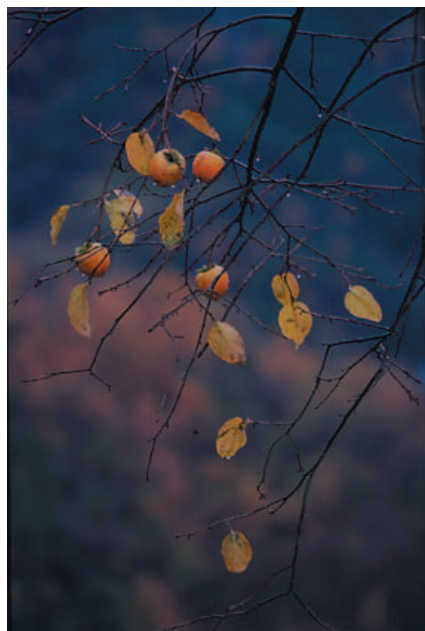
今月の格言：写真の失敗の3つの要素＝「カメラブレ」「ピンボケ」「露出の過不足」

❶淡いモノトーン調の中に、赤い色を小さくポイントとして入れた。こうした画面構成や色調により、冬の寒さと、結氷した湖の静寂さが強調された。手前の穴は、絵柄としては面白いが、視点を分散させてしまうデメリットもある。

❷子どもの目線まで腰を折って話しかけるおまわりさん。ほのぼのとした写真で、作者の温かな心まで伝わってくる。が、こちらも最優秀作同様、左の人物が画面を分断させているのが残念。

❸水滴が秋の名残にまとわりつき、晩秋のわびしさを感じさせる。バックのぼかしもきれいだ。

❹水滴のついたクモの巣がレースを広げたように美しく見える。逆光をうまく使った。赤い葉が、いいアクセントとなっている。

❺降りしきる雪をものともせず、伝統の「はしご登り」を演じる加賀鳶の、威勢の良いかけ声が聞こえてきそうだ。

❸鳥羽孝哉
長野県
松本アルプス
73歳
［山里雨上がる］

❷大政弘典　愛媛県八幡浜みなと·67歳［んッ、どうしたの？］

❺和澤一男　石川県金沢菊水·77歳［加賀鳶］

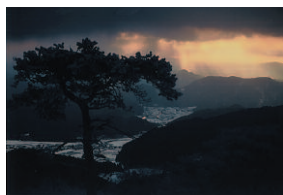
❹門野泰弘
広島あさひ
57歳［秋の日］

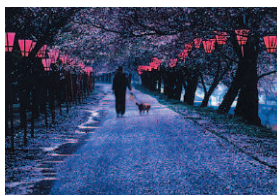
入選

相馬幸次郎　北海道帯広平原·61歳［清流］

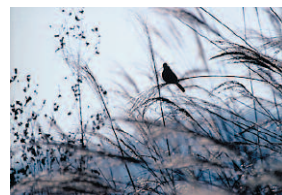
本橋正康
北海道帯広平原
68歳［ベコニア］

梅田尊
愛知県豊田
65歳［焚火］

山本壽一　大阪港·76歳［26の瞳］

畔柳東一　愛知県岡崎竜城·51歳
［真冬の山頂にて］

菊野善之助　愛媛県松山·82歳
［花弁の霜］

薄田英夫　広島あさひ·65歳
［雨後の散歩道］

重藤一美　広島県甲山·51歳［行く秋］

LIONS GALLERY

「新緑の裏磐梯山」油絵　90×120センチ

会津磐梯山。表と裏とがこれほど違った山はないだろう。
　明治の大爆発によって一瞬のうちに五カ町村を埋め尽くし、川をせき止め、多数の湖沼群と湿地をつくったという。町有志の限りない復興への努力、住民たちの愛の手が差し伸べられて今日の裏磐梯国立公園が出来上がったという事実を知り、私もいつしかこの山のとりこになってしまった。
　特に中瀬沼展望台から眺める裏磐梯山の美しさは素晴らしいものである。春に秋にここを訪れて下手な絵を描き続けている。
　この絵は五月初旬、山頂に残雪をかぶり新緑の中瀬沼の上にそびえ立つ磐梯山。その美しさは群を抜いている。中央に磐梯山、左右に櫛岳、小磐梯山と連なり素晴らしい眺めである。
　絵画クラブの友と訪れた紅葉の磐梯山もまた素晴らしい景色であった。
（こしかわ　しのぶ・75歳）

越川忍
千葉県・山田町
植樹園経営

読者プレゼント

■ヨーグルトと加工品セットを各五人の読者に

「ふるさと探訪」（36ページ）に登場した北海道・鹿追ライオンズクラブから、東瓜幕協和生産組合（ライオン清水據鄰）の「草原のヨーグルト　でーでーぽっぽ」と、㈲鹿追やまべ園（ライオン畑久雄）のオショロコマのマリネや甘露煮などの加工品セット「オショロコマの里」がそれぞれ五人の読者にプレゼントされます。でーでーぽっぽはキジバトの鳴き声を表した言葉。オショロコマは然別湖にのみ生息する淡水魚です。

EDITOR'S ROOM

■鮭の寒風やぐら干しセットを五人の読者に

「クローズアップ」（33ページ）に登場したライオン吉野寿彦（北海道・寿都ライオンズクラブ）から、㈲マルトシ吉野商店の鮭の寒風やぐら干しセット（切り身と鮭フレーク）が五人の読者にプレゼントされます。

■『泳げ！　夢のこいのぼり』を十人の読者に

「伝言板」（56ページ）でご紹介した、途上国の子どものためのより良い地域づくりを支援する国際NGO、日本フォスター・プラン協会から、『泳げ！　夢のこいのぼり　世界の子どもが描いた現実と理想』が十人の読者にプレゼントされます。このパンフレットには世界の子どもたちが描いた夢のこいのぼりが登場。こいのぼりの片面には「今住んでいる村（街）の様子」が、他方は「住んでみたい理想の村（街）」が描かれています。家族や学校で国際協力について学ぶ教材としてご活用頂けます。

■羊羹を十人のクイズ正解者に

「祭りのある風景」（40ページ）に登場した北海道・江差ライオンズクラブから、左記のクイズの正解者十人に、㈱五勝手屋本舗の「流し羊羹」がプレゼントされます。五勝手屋の歴史はそのまま江差の歴史でもあります。慶長年間にこの地に渡った開拓者が、原生林を切り開き小豆を植えたところよく実り、羊羹を作って藩主に献上したのが始まりと言われています。江差の人々にはふるさとの味として親しまれ、土地を代表する銘菓です。現在、羊羹の主原料は小豆ではなく北海道産の金時豆。深みのある美しい色合いと、コクがありながらさっぱりした甘さが特徴です。

クイズ：江差姥神大神宮渡御祭の祭典は何月何日から始まるでしょう？

プレゼント応募要項

はがきに住所、氏名、電話番号、クラブ名と「ヨーグルト」「オショロコマ」「鮭」「こいのぼり」「羊羹」とご希望の品を、「羊羹」には「●月●日」とクイズの解答も明記し、下記のあて先へ。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は4月末日。応募多数の場合は抽選となります。当選のお知らせはプレゼントの発送をもって代えさせて頂きます。

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045
東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
ウェブサイトからの応募
URL: www.lionsclubs.org/JA/content/thelion_present_form.html

次号予告

THEME

LCIFスタディ・ツアー

二〇〇一年のインド西部地震被災者救援事業には、LCIFから総額約二百万ドルが交付された。資金の約半分は日本からの指定献金だった。この二月、インドでの復興事業を視察し、LCIF交付金の有効性を確認するため、スタディ・ツアーが実施され、日本各地から十八人の会員が参加した。

ROAR・ローア
――まるごと332複合地区

五月号は332複合地区特集。「ヘッドライン」は山形県・上山あららぎライオンズクラブが観光客と市民の憩いの場としてつくった足湯を取材。「インタビュー」はカンボジアにクラブを結成した福島県・郡山ライオンズクラブに海外エクステンションの経緯を聞く。「ふるさと探訪」は秋田県平鹿町。平鹿町の浅舞婦人漬物研究会は、三十年前から地場産の野菜を使い安全でおいしい漬物を作り続け、今では全国に多くのファンを持つ。平鹿は広大な横手盆地の南部にあって、肥沃な大地と豊富な湧水に恵まれ、その水と平鹿産の米にこだわった酒作りも行われている。

ほかにも、「トピックス」「クローズアップ」「祭りのある風景」「日本の風景」と地域情報が満載です。ご期待ください。

Official publication of Lions Clubs International.

Published by authority of the Board of Directors in 21 languages – English, Spanish, Japanese, French, Swedish, Italian, German, Finnish, Flemish-French, Korean, Portuguese, Dutch, Danish, Chinese, Norwegian, Icelandic, Turkish, Greek, Hindi, Thai and Croatian.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571(代)　FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp

編集室

エクステンション

ライオン誌
日本語版委員
◉
高橋義太郎

　昨年度、私たち同期の地区ガバナー三十二人が心を一つにして取り組んだもの、それが「エクステンション」です。ガバナー・エレクト・セミナーで、「リジョン内に新クラブを一つ結成する」と、目標を示された時、正直不可能だと思いました。時あたかも経済不況の真っ只中、会員数の維持すら大変な時でした。その場の全員が皆同じ気持ちだったことでしょう。

　そんな矢先、フクシマ次期国際会長が急に私たちのセミナー会場においでになり、「なぜ今、エクステンションが必要なのか」を流ちょうな日本語で熱く語られました。後で林静誠グループ・リーダーから聞かされましたが、これは異例な出来事だったようです。

　国際会長の話は、ここ数年各クラブが一生懸命会員増強に取り組んでいるにもかかわらず世界的に会員が減少を続けており、この現状を打破するには新しいクラブの結成が必要不可欠だということ。更に、若い人たちだけのクラブ、目的を同じくする人たちのクラブ、同じ職業の人たちのクラブなど、今の時代にマッチするようなクラブの結成が必要だということでした。

　国際会長の熱のこもったスピーチ。そしてそれを後押しする多久良男エリア・インパクトチーム・リーダーの力強い言葉に、私たちの心は奮い立ちました。セミナー最終日には、三十二人が揃って「やるぞー」と声を発するに至った次第です。

　各地区に戻った私たちは、キャビネット会議では役員に、公式訪問ではクラブ会長を始めとする会員に、その必要性を熱く訴えました。私の場合は「吼えた」と言った方が正しいでしょう。その結果が、前年度の三倍近い六十七の新クラブの結成に表れたのだと確信します。

　今年度のリー国際会長はエクステンションを継承し、更に「戦後生まれの若い会員」「女性」に焦点を絞った会員増強をも目標に掲げています。ライオンズの伝統を守りつつ、マイナス要素を打破するための挑戦です。

　今年度もまだ三カ月あります。エクステンションにも会員増強にも十分な時間です。「成せばなる、成さねばならぬ何事も、成らぬは人の成さぬなりけり」とは、窮乏のどん底にあった藩財政を立て直した上杉鷹山の句。やれば出来る！　だから今すぐ、行動を起こしましょう。

日本ライオンズクラブ　分布図

（二〇〇三年十二月三十一日　国際協会集計）

世界のライオンズ

	■クラブ数 前期末	現在	■会員数 前期末	現在	現在増減
ライオンズ国または領域　前期末191　現在192	45,766	46,134	1,357,467	1,348,350	△ 9,117

日本のライオンズ

		■クラブ数 前期末	現在	■会員数 前期末	現在	現在増減
331-A北海道（道央地区）76		75	76	3,029	3,044	15
331-B北海道（道北·道東地区）100		100	100	3,536	3,520	△ 16
331-C北海道（道南地区）62		62	62	2,426	2,457	31
	小計	237	238	8,991	9,021	30
332-A青森67		67	67	2,428	2,424	△ 4
332-B岩手57		56	57	2,046	2,078	32
332-C宮城81		81	81	2,014	2,000	△ 14
332-D福島82		82	82	2,509	2,503	△ 6
332-E山形57		57	57	2,251	2,225	△ 26
332-F秋田57		57	57	1,809	1,797	△ 12
	小計	400	401	13,057	13,027	△ 30
333-A新潟84/群馬57		140	141	5,618	5,560	△ 58
333-B茨城81/栃木60		140	141	4,695	4,678	△ 17
333-C千葉126		126	126	3,647	3,691	44
	小計	406	408	13,960	13,929	△ 31
330-A東京197		197	197	5,823	5,801	△ 22
330-B神奈川163/山梨35/東京1		199	199	6,289	6,336	47
330-C埼玉111		111	111	3,261	3,254	△ 7
	小計	507	507	15,373	15,391	18
334-A愛知114		114	114	6,413	6,380	△ 33
334-B岐阜56/三重36		92	92	4,534	4,525	△ 9
334-C静岡84		84	84	3,866	3,839	△ 27
334-D富山38/石川33/福井27		98	98	4,679	4,678	△ 1
334-E長野55		55	55	2,625	2,667	42
	小計	443	443	22,117	22,089	△ 28
335-A兵庫（東）116		116	116	3,714	3,592	△ 122
335-B大阪167/和歌山26		190	193	7,790	7,817	27
335-C滋賀24/京都80/奈良18		122	122	4,985	4,990	5
335-D兵庫（西）67		67	67	2,752	2,724	△ 28
	小計	495	498	19,241	19,123	△ 118
336-A徳島36/高知32/香川31/愛媛53		151	152	6,931	6,965	34
336-B鳥取24/岡山80		104	104	4,443	4,348	△ 95
336-C広島107		107	107	4,427	4,393	△ 34
336-D島根48/山口61		109	109	4,313	4,331	18
	小計	471	472	20,114	20,037	△ 77
337-A福岡116/長崎3		119	119	5,466	5,416	△ 50
337-B大分47/宮崎47		94	94	3,441	3,450	9
337-C佐賀29/長崎54		82	83	3,295	3,351	56
337-D熊本58/鹿児島57/沖縄27		142	142	4,815	4,779	△ 36
	小計	437	438	17,017	16,996	△ 21
	合計	3,396	3,405	129,870	129,613	△ 257
	世界のライオンズの		7.4%		9.6%	